

銀サルヴァルサント ネオサルヴァルサントノ化合物 黒色ノ粉末ニシテ 水ニ溶ケ易ク 弱アルカリ性反應ヲ呈ス 副作用 ネオサルヴァルサンニ同ジ

處方及其適用 黴毒各期ニネオサルヴァルサント同ジ操作及注意ニテ靜脈内注射ス 其用量 成人ハ0.2-0.45 哺乳兒ハ體重1キログラムニ對シ0.01-0.015トス ネオサルヴァルサントノ注射比量次ノ如シ

ネオ銀サルヴァルサン	ネオサルヴァルサン
0.2	0.3
0.3	0.45
0.4	0.6
0.45	0.7

注射ハ再蒸餾セル殺菌水10-20ccニ稀釋シ 針先ノ確實ニ靜脈内ニ在ルヲ見テ 徐々ニ注入スルコトネオサルヴァルサンニ同ジ 溶液ハ完全ニ澄明ナラザルベカラズ 少シニテモ濁シ 又ハ汚褐色 赤色ヲ呈セルモノハ用ウベカラズ 過敏症狀起ラバアドレナリン液0.5-1.0ヲ皮下注射スベシ 本品ハ溶液ノ黒色ヲ呈シ 針先ヨリ注射器内ニ流入スル血液ノ状態ヲ見惡キ不便アリ

硝 酸 銀

Argentum nitricum.

硝酸銀ハ重金屬鹽一般ノ作用ニ基キ 局所組織ニ觸レテ銀イオンハ蛋白銀鹽化銀ヲ硝酸イオンハ硝酸トナリテ酸蛋白ヲ作ル 是等化生蛋白體ハ何レモ不溶解性ナルガ故ニ 直チニ組織ノ表面ヲ覆ヒ 輕キ

時ハ收斂作用ヲ 重キ時ハ腐蝕作用ヲ營ムモ 其ノ腐蝕作用ハ表在性壞死層ニ妨ゲラレテ深達作用ヲ發揮スルコトナシ 斯ク蛋白體ト化生セル蛋白銀ハ 猶ホ能ク細菌ニ對シテ之ヲ撲滅スル働アルモノナリ

硝酸銀ハ眼科ニ於テ主トシテ收斂及殺菌ノ目的ニ用キテ炎症ヲ防遏シ 分泌ヲ抑制シ 細菌ノ撲滅ヲ圖ルモノトス 腐蝕ノ目的ニハ特殊ノ場合ノ外適用セズ

硝酸銀使用上ノ注意及其眼障

1. 溶液ノ濃度 收斂ヲ目的トスル場合ニテ 炎症甚シケレバ2-3% 中等度ノモノニハ1-2% 輕度ニハ0.25-0.5%液ヲ用キ 腐蝕ヲ目的トスル場合ニハ10-20%液ヲ用ウ 細菌ノ撲滅ハ 收斂 腐蝕作用ト同時ニ行ハル、モノナリ

2. 結膜腐蝕 膿漏眼及其他ノ急性結膜炎ニ對シ頓挫的療法ノ目的ヲ以テ5-10%ノ濃厚液ヲ結膜面ニ塗布スル時 時トシテ塗布部ニ比較的深キ潰瘍ヲ生ズルコトアリ コレ健常ノ結膜ニ比シ脆弱トナレル病的組織ガ硝酸銀ニヨリテ強ク作用セラル、タメニシテ 既ニ組織ニ缺損ヲ起セルモノニテハ 作用一層強大トナリ 治癒後癢痕性眼瞼内腫症 瞼球癒着症ヲ來スコトアリ 塗布後3%硼酸ワセリンヲ結膜囊ニ點入シテ癒着ヲ防護スベシ

3. 角膜腐蝕 濃度強キ液ヲ角膜ニ觸接スル時ハ腐蝕セラレテ白濁ヲ生ズルコトアリ 豫メ コカインヲ點眼セルモノニテハ コレヲ點眼セザルモノニ比シ 潤濁ヲ來シ易シ コレ コカインニテ角膜上皮乾燥シ 細胞機能ノ減退セルタメナリ

硝酸銀ニ因ル角膜腐蝕ニハ二種アリ 一ハ上皮層ニ止マレル表在性腐蝕ニシテ 他ハ角膜實質ニ達セル深達性腐蝕ナリ 前者ハ概ネ數日以内ニ痕跡ナク治癒スルモ 後者ハ數週乃至數月ヲ經テ徐々ニ吸收セラレ 時トシテ永久的ノ潤濁ヲ殘ス 此ノ潤濁ハ受傷ノ初期ニハ乳白色ヲ呈スルモ 數日乃至數週ニシテ漸次卵黃色乃至黃褐色トナリ 終ニ永久的ノ黑褐色ニ變ジ 角膜銀病ヲ形成ス 所置ハ受傷時直チニ1%食鹽水ニテ結膜囊ヲ充分洗滌シ 1%食鹽水溫電法及眼浴 5%食鹽水 10-15%次亞硫酸ソーダ水 デオニン水點眼 3%食鹽ワセリン點入等ヲ持續勵行スベシ コレ蛋白質ハ中性鹽類殊ニ食鹽ニテ一部漸次ニ溶解シ去ルヲ以テナリ 炎症少シク消退セバ 食鹽水結膜下注射モ可ナリ 刺戟性藥品殊ニ硝酸銀ハ絶對ニ用ウベカラズ

4. 眼銀病 直接性眼銀病 Direckte Augenargyrosis ト 吸收性眼銀病 Resorptive Augenargyrosis トアリ

直接性眼銀病ハ 硝酸銀液ガ眼組織(主ニ結膜及角膜)ヲ直接腐蝕シテ生ズル蛋白銀及鹽化銀ノ組織内殘留ニ基クモノニシテ 初メ黃褐漸次黑褐乃至紫黑色トナリ 陳舊ナルモノハ青黑色ヲ呈ス 組織學的ニハ初メ結膜及角膜ノ上皮層ニモ銀顆粒ヲ認ムルモ 後ニハ此ノ層ニハ證明シ難ク 主トシテ 結膜下組織及角膜實質層ニ 彌蔓性ニ散在シ 結膜ニテハ漸次血管周圍ニ顆粒集積ス 本症ハ濃厚液ノ使用ニヨリ 又ハ稀薄液ノ持續使用ニヨリ發スト 雖人ニヨリ罹患シ易キ素因アリ 豫防ニハ硝酸銀液使用後食鹽水ノ洗滌ヲ充分ニシ 電法 眼浴劑ニハ食鹽ヲ伍用スベシ 既ニ銀病ヲ起セルモノニハ 銀劑ノ使用ヲ廢シ 食鹽療法(前項参照) 10-15%次亞硫酸ソーダ液點眼ヲ試ミ 猶ホ組織ノ新陳代謝促進ノ目的ヲ以テ デオニン水點眼 食鹽水結膜下注射 結膜按摩等ヲ試ムベシ 一度銀病ニ罹リタルモノハ 爾後銀劑ノ使用ニヨリ容易ニ罹患スルモノトス

吸收性眼病ハ硝酸銀ノ内服又ハ眼部以外ノ身體他部ニ銀鹽ヲ持續使用セル際 全身銀病ノ一分症トシテ眼ニモ發症スルモノナリ

5. 硝酸銀釋 ハカリ硝石2分ト硝酸銀1分トヨリ成リ 深達性腐蝕力ヲ有ス コレカリ硝石ガ硝酸銀ニテ化

生セル蛋白質ノ一部ヲ溶解シテ 餘剩ノ硝酸銀ガ 腐蝕層ヲ通ジテ深部ニ達スルニヨル 徴兵忌避ノ目的ニ本劑ニテ角膜ヲ腐蝕セルモノガ 全角膜層ヲ潤濁セシメ 水晶體前面ヲモ腐蝕セル例アルガ如キハ能ク其深達作用ノ強キヲ證スルモノナリ 眼科的ニハ使用セザルヲ安全トス

硝酸銀ハ無色板狀ノ結晶ニシテ 0.6分ノ水ニ溶解ス (167%) 光ヲ遮リテ貯フベシ 極量1回 0.03 1日0.1

處方及其適用

- 點眼水 1. 硝酸銀 0.025-0.05-0.1-0.2
蒸餾水 10.0
分泌アル 結膜炎 トラホームニ翻轉セル 結膜面ニ點眼シ 1日1回 1%食鹽水ニテ洗滌ス 1%以上ノ液ヲ點眼セル場合ハ 30分乃至1時間後更ニ結膜囊ヲ洗滌シテ分泌物ヲ除去スレバ 患者快感ヲ覺ユ 分泌消退セバ隔日又ハ數日ニ1回行フ 春季加答兒 義膜性結膜炎ニ禁忌ス 角膜潰瘍ヲ伴フモノニモ用キテ害ナシ
2. 硝酸銀 0.3-0.5
蒸餾水 10.0
膿漏眼ノ初期ニ頓挫的療法トシテ點眼 次回點眼ハ前回點眼ニヨル結膜腐蝕面ノ全ク消失セル後行フベシ 持續スベカラズ
3. 硝酸銀 0.2
蒸餾水 10.0

初生兒ニ點眼(クレデ氏法)

- 塗布藥 4. 硝酸銀 2.0-5.0
蒸餾水 100.0
細菌性眼瞼緣炎(潰瘍性眼瞼緣炎 重桿菌性眼瞼緣炎) 顔面頭部濕疹ニシテ痂皮アルモノハ之ヲ除去シタル後 硝子棒ニ綿花ヲ捲キテ硝酸銀液ヲ濕ホシテ塗布ス 1日1回 塗布後 亞鉛華 オレーフ油 ラッサル氏膏 白降汞ワセリン等ヲ塗布スベシ
5. 硝酸銀 1.0-2.0
蒸餾水 10.0
トラホーム性パンマス 芒把狀角膜炎ニ毛筆又ハ硝子棒ニ綿花ヲ捲キテ硝酸銀液ヲ濕ホシ 病竈ニ局限シテ塗布シ 直チニ多量ノ1%食鹽水ニテ洗滌 豫メ コカインヲ點眼スベシ
顔面丹毒 熱傷ニ本液ヲ塗布シ効アリ
- 膏劑 6. 硝酸銀 0.05
米國製白色ワセリン 5.0
ラノリン 5.0
小兒ノ頭部濕疹 潰瘍性眼瞼緣炎ニ塗布
- 内服藥 7. 硝酸銀 0.5
白陶土 } 各適宜
蒸餾水 }
50丸トナシ 1日3回 1回1-2丸宛 脊髓癆性視神經消耗症ニ服用
- 〔附記〕 硝酸銀ニヨリ汚染セル被服 皮膚ノ銀斑ヲ除クニハ左ノ處方ニヨルベシ
1. 鹽化銅 2.0 水 100.0 ノ溶液ニテ銀斑ヲ濕ホシ 其白變スルヲ待チ 次亞硫酸ソーダ 10.0 水 100.0 ニ浸シ 白斑ノ消失シタル後水洗ス 次亞硫酸ソーダ液ハ用

ニ臨ミ新調スベシ

2. ルゴール氏液 (ヨード カリウム 3.0 ヨード 1.0 水 100.0) 又ハ ヨード丁幾ヲ滴下シテ數分間放置シ 次亞硫酸ソーダ 1.0 水 100.0 ノ温液ニテ洗ヒ更ニ水洗ス 次亞硫酸ソーダ液ハ用ニ臨ミ調製スベシ (森川氏法)
3. 鹽化アンモニウム 10.0 昇汞 10.0 水 30.0 ノ液ニテ温ホシ 銀斑褪色後水洗

プロテイン銀(プロタルゴール)

Argentum proteinicum. (Protargolum.)

淡黄色或ハ類褐色 微細ノ粉末ニシテ 水ニ容易ニ溶解シ 中性又ハ弱アルカリ性反應ヲ呈ス 振盪スル時ハ泡沫ヲ生ジ 且ツ熱ニヨリテ分解シテ刺激性トナルガ故ニ 溶液トスルニハ 冷水ニテ溶キ 振盪セズシテ數時間放置スベシ 鹽酸 アルカリ 蛋白 食鹽ヲ加フルモ 沈澱セズ 100 分中 8 分以上ノ純銀ヲ含ミ 硝酸銀ノ如ク組織ヲ侵シテ腐蝕スルコトナク 僅ニ收斂作用ヲ呈スルノミナルガ故ニ 能ク組織ノ深部ニ達シテ殺菌力ヲ發揮ス 其 10 % 液ハ約 2 % ノ硝酸銀液ニ等シキ殺菌力アリ 硝酸銀ニ比シテ 一層銀病ヲ起シ易キ 傾向アルガ故ニ 持續使用ヲ戒ムベシ 光ヲ遮リテ貯フ

處方及其適用

點眼水 1. プロタルゴール 0.2

蒸留水 10.0

細菌性結膜炎 外傷眼等ニ 患者 自宅用トシテ 1 日數回點眼 殺菌ヲ目的トスルモノナルガ故ニ 細菌消失セバ使用ヲ廢シ 眼銀病ノ發生ヲ豫防スベシ

2. プロタルゴール 0.5-1.0

蒸留水 10.0

(1) 細菌性結膜炎ニ 1 日 1-3 回點眼 結膜囊ニ能ク行キ 渡ル如ク行ヒ 洗滌スルニ及バズ (2) デフテリー性結膜炎ニハ 初期義膜ノ存スル間ハ 1 日 2-3 回點眼 (3) 膿漏眼ニハ 1 日 1 回硝酸銀ヲ用キ 他ハ本劑ヲ 1 日 3-5-10 回點眼 (4) 初生兒膿漏眼ノ豫防トシテクレデ氏法ニ代用 (10 %) (5) 外傷眼ニ 1 日 1-3 回點眼 (5 %)

膏劑 3. プロタルゴール 1.0

米國製白色ワセリン 5.0

ラノリン 5.0

外傷眼ニ 1 日 1-3 回 眼瞼濕疹ニ塗布

4. プロタルゴール 1.5

亞鉛華 1.0

澱粉 1.0

米國製白色ワセリン 15.0

眼瞼膏劑トシテ眼瞼炎ニ塗布(ダリエル氏)

洗滌料 5. プロタルゴール 0.5

蒸留水 10.0

涙囊洗滌料

6. プロタルゴール 1.0

蒸留水 10.0

グリセリン 10.0

涙囊洗滌料

7. プロタルゴール 0.25
 蒸溜水 50.0
 前房洗滌料 加熱滅菌シ能ハザルガ故ニ調製後1夜ヲ經過シ用ウベシ 外傷手術ニテ眼球前部ノ化膿ヲ起セルモノニ前房穿刺後 徐々ニ洗滌ス(エルシュニヒ氏)

ジルゴール Syrzol.

黒褐色ノ粉末ニシテ 酸化膠銀ト アルブモーゼトノ化合物ナリ 20.6%ノ純銀ヲ含ミ 2分ノ水ニ溶解シ(50%) 光線ニヨリ分解ス 刺戟少ク 殺菌力強シ 2-5%液ハ 10-20%プロタルゴールト効力匹敵ス

處方及其適用

- 點眼水 ジルゴール 0.1-0.2-0.5
 蒸溜水 10.0
 (1)膿漏眼ニハ 2-5% (2)チフテリーニハ 1-2% (3)外傷眼ニハ 1% (4)クレデ氏法代用ニハ 2%ヲ用ウ (Axenfeld, Römer, Adam, Silex.)

ソフォーラ Sophol.

淡黄色 無臭ノ粉末ニシテ 容易ニ水ニ溶解シ 弱アルカリ性ノ反應ヲ呈ス 20%ノ銀ヲ含ミ 無刺戟性ナリ

光線及熱ニヨリテ分解シ フォルムアルデヒードヲ分離シテ刺戟性トナル 溶液調製上ノ注意 プロタルゴールニ同ジ

處方及其適用

- 點眼水 ソフォーラ 0.3-0.5
 蒸溜水 10.0
 (1)膿漏眼 チフテリー 細菌性結膜炎等ニ殺菌ノ目的ヲ以テ プロタルゴールニ於ケルガ如ク適用シ(3-5%) クレデ氏法ニ代用シテ初生兒膿漏眼ノ豫防ニ 用ウ(5%)

イトロール(枸橼酸銀)

Itrol. (Argentum citricum.)

白色又ハ淡黄色ノ粉末 約 3800分ノ水ニ溶ク(0.026%) 無刺戟性ナレ共 分解シ易キガ故ニ常ニ新鮮ナルモノヲ用キ 又30度以上ニ熱スベカラズ 防腐力甚ダ強シ 濃厚液ハ角膜ニ浸潤ヲ生ズル 悞アリ 光ヲ遮リ貯フベシ

處方及其適用

- 點眼水 1. イトロール 0.05-0.3
 蒸溜水 10.0
 膿漏眼 急性細菌性結膜及角膜炎 急性トラホーム等ニ 1日 2-5回點服
 2. イトロール 1.0

	蒸留水	10.0
	1日1-2回 結膜腐蝕用(アダム氏)	
撒布藥	3. イトロールノ粉末ヲ毛筆ニテトラホーム膿漏眼ニ撒布 豫メ結膜囊ヲ洗滌シテ分泌物ヲ除去スベシ	
洗滌料	4. イトロール	0.25
	蒸留水	100.0
	膿漏眼 ゼフテリー 其他細菌性結膜炎ニ殺菌ノ目的ニテ洗滌	

コロイド銀(可溶性銀)

Argentum colloidal.

金屬銀ニ化學的操作ヲ加ヘテ水ニ溶解スベキ状態トナシタルモノナレドモ 眞ノ溶液ニアラズシテ 最微ノ顆粒ニ分レ存スルモノナリ 類縁黑色又ハ類藍黑色ノ小葉片ニテ 金屬光澤ヲ存シ 100分中70-80分ノ純銀ヲ含ム 無刺激性ニシテ 組織ノ深部ニ達シ 細菌ヲ撲滅ス 體內組織ノ細菌傳染ニ對シテハ塗擦 注射 注腸ニ行ヒテ効アリ

處方及其適用

點眼水	1. コロイド銀	0.1-0.2
	蒸留水	10.0
	細菌性結膜炎 外傷眼ニ 患者自宅用トシテ 交付シ 1日3-5回點眼 細菌死滅セバ使用ヲ廢スベシ	
	2. コロイド銀	0.3-0.5
	蒸留水	10.0

	膿漏眼 ゼフテリー 其他細菌性結膜炎 外傷眼ニ1日1-3回	
洗滌料	3. コロイド銀	0.5
	蒸留水	100.0
	膿漏眼 ゼフテリー 外傷眼ノ結膜囊洗滌	
	4. コロイド銀	0.25
	蒸留水	100.0
	外傷及手術ニヨル 眼球化膿ニ際シ 角膜創ヨリ又ハ前房穿刺創ヨリ前房内洗滌	
膏劑	5. コロイド銀	2.0
	ラノリン	9.0
	米國製白色ワセリン	9.0
	外傷及ビ手術眼又ハ結膜及角膜ノ細菌撲滅ノ目的ヲ以テ結膜囊内點入 角膜創部ノ上皮缺損部ハ黃褐色ニ染色シ フルオレスチンノ代用ヲモ兼ヌ(クレーデ軟膏)	
	6. コロイド銀	0.2
	米國製白色ワセリン	10.0
	(1)手術前結膜囊消毒用 (2)フリクテンニシテ細菌ノ共存セルモノニ 甘黍 黃降黍ニ代用	
	7. コロイド銀	0.2
	硫酸アトロピン	0.1
	米國製白色ワセリン	10.0
	細菌性角膜潰瘍ニ1日1-2回點入繃帶	
塗擦料	8. コロイド銀	15.0
	單軟膏	100.0
	眼窩蜂窩織炎 膿毒症 其他身體内部ノ細菌傳染ニ 小兒ニハ 1.0 成人ニハ 2.0-3.0ヲ皮膚ニ擦入ス 1回約20分間行ヒテ1日	

1-4 回反復持續

注射料 9. コロイド銀 1-3.0
蒸留水 100.0
適用 8ノ如シ 皮下若クハ筋肉内注射ス
靜脈内注射ハ危険ヲ伴フコトアリ 1回 5
ccトシ 1日 1-4回注射シ日々反復ス 病
症頓挫セバ注腸 塗擦ニ代ヘ得

注腸料 コロイド銀 1.0-5.0
蒸留水 100.0
1回 50-100 cc 1日 2-4回 ネラトン氏カ
テーテルヲ深く大腸ニ送入シ 徐々ニ藥液
ヲ注グベシ 豫メ食鹽水ニテ洗腸シ 注腸
藥ヲ體温ト等シク加温シテ行フ 適用 8ノ
如シ

コロイド銀ノ製劑ニ次ノ如キモノアリ

コルラルゴール Collargol. „Heyden” & „Clin.” コ
ロイド銀ト同質ニシテ コロイド銀ノ如ク適用ス
コーラルゲン Colargen. (圓城) 邦製コルラルゴール
ナリ

濃厚銀エレクロイド Concentrated elecloid Silber. (國
光) 3%コロイド銀ヲ含ミ 之ニ膽汁酸鹽ヲ配セル
モノ 殺菌ノ目的ニ膿漏眼 ゼフテリー及結膜角膜
ノ疾患ニ點眼

エレクトロコラルゴール Electrocollargol. „Heyd-
en.” 0.6%コロイド銀液ニシテ 1回 5-15 ccヲ筋肉
内ニ注射シ 丹毒 蜂窩織炎 敗血症 其他總テノ細菌
性疾患ニ適用

エレクトラルゴール Electrargol. „Clin.” エレクト
ロコラルゴールニ同ジ

エモリゾール Yemorisol. (友田) 邦製エレクトラル
ゴールナリ
アルゴエレクトロゾール Argoelectrosol. (櫻木) 0.05
%ノ銀ヲ含ミ 1回量 5-10 ccヲ エレクトロコラル
ゴールノ如キ適應症ニ筋肉内注射ス
銀エレクロイド Elecloid-Silber. (國光) 1回量 5 cc
ヲ エレクトロコラルゴールノ如キ適應症ニ筋肉内
注射

ラルギン

Largin.

銀ト蛋白トノ化合物ニシテ 白色又ハ灰白色ノ粉末
水ニ溶解シ 弱アルカリ性反應ヲ呈ス 11.5%ノ純
銀ヲ含有ス 5-10%液トシテプロタルゴールニ於
ケルガ如ク點眼料トス

アルゴニン

Argonin.

白色微細ノ粉末ニシテ蛋白 食鹽ニ沈澱セズ 4.25%
ノ銀ヲ含ム 水ニ溶ケ難ク 僅ニ加温シツ、10%マ
デノ溶液トナシ得 強ク熱スレバ分解シ 効力ヲ失
フ 10-20%液トシテ プロタルゴールニ於ケルガ
如ク點眼料トス

イヒタルガン

Ichtargan.

銀トイヒチオールトノ化合物ニシテ 褐色ノ粉末
容易ニ水ニ溶解ス 30%ノ銀ヲ含ミ 點眼料及洗滌
料トシテ 0.5-3%ノモノヲ適用ス

アルギロール

Argyrol.

銀ト蛋白トノ化合物 暗褐色ノ粉末ニシテ 30%ノ銀ヲ含ミ 水ニ溶解ス 1-10%ノモノヲ プロタルゴールノ如ク適用ス

アルゲンタン

Argentamin. „Schering.“

無色ノ溶液ニシテ アルカリ性反應ヲ呈シ 蛋白食鹽ニヨリテ沈澱セズ 約 6.33%ノ純銀ヲ有シ 刺戟性稍強シ 光ヲ遮リテ貯フベシ
アルゲンタミン 0.5-1.0 蒸留水 10.0 ヲ點眼科トシテプロタルゴールニ於ケルガ如ク用ユ

アルバルギン

Albargin.

類黄色ノ粉末 水ニ溶ケテ 中性又ハ弱酸性ノ反應ヲ呈ス 15%ノ銀ヲ含ム 2-10%液トシテ プロタルゴールニ代用ス

ノヴァルガン

Novargan.

類黄色ノ粉末 銀ト蛋白トノ化合物ニシテ 10%ノ銀ヲ含ミ 水ニ溶解シテ 中性又ハ弱酸性ノ反應ヲ呈シ 無刺戟性ナリ 5-10%液ヲ點眼科トシ プロタルゴールニ於ケルガ如ク適用ス

(附記) シーベルト氏ガ銀劑ノ淋菌ニ對スル殺菌力

ト 治療上應用シ得ベキ濃度トヲ 比較セル 成績次ノ如シ

種類	五分間ニ淋菌ヲ死滅スル濃度	治療的濃度
硝酸銀	1000(倍)	2000-4000(倍)
イセタルガン	2000	500-2000
アクトール	2000	4000-10000
イトロール	2000	4000-10000
アルゴニン	200	20-100
プロタルゴール	700	100-400
ラルギン	700	50-400
ノヴァルガン	1000	50-500
アルゲンタミン	1000	1000-5000
アルバルギン	700	1000-3000

ヨード丁幾

Tinctura Jodi.

ヨード 10.0 ヨードカリウム 7.0 蒸留水 10.0 ヲ酒精 100.0 ニ混ジタルモノニシテ 強キ殺菌作用ヲ有シ 消炎誘導 吸收ノ効アリ 光線ヲ遮ル 必要ナシ 金屬ニ觸レテ之ヲ腐蝕ス 極量 1回 0.2 1日 0.6

處方及其適用

殺菌及腐蝕ノ目的ニテ主トシテ塗布藥トシテ用キラル

1. 硝子棒ノ尖端ニ綿花ヲ捲キテ ヨード丁幾ヲ濕ホシ 眼瞼濕疹 潰瘍性眼瞼緣炎ニ塗布 角膜ニ觸ル、ヲ避クベシ

1. 細長ナル硝子棒 又ハ消息子ノ尖端ニ ヨード丁幾ヲ濕ホシ 匍行性角膜潰瘍 治癒シ難キ角膜フリクテン 角膜ヘルペス 反復性角膜上皮剝離 加答兒性角膜潰瘍ニ塗布

稀ヨード丁幾 Tinctura Jodi diluta. ヨード丁幾 11.0 蒸餾水 2.0 酒精 20.0 ノ混液ニシテ手術野ノ皮膚消毒 手指ノ消毒ニ用キラル

ヨードフォルム Jodoformium.

黄色光澤アル細小ノ葉狀結晶 又ハ結晶性粉末ニシテ 竇透性ノ臭氣ヲ有シ 水ニ殆ド溶ケズ 約 80 分ノ酒精 10 分ノ熱酒精 約 8 分ノ エーテルニ溶解ス 95.7%ノ ヨードヲ含有ス 其防腐作用ハ 創傷ノ分泌物ニ觸レテ徐々ニ分解シ ヨードヲ發生スルニヨルモノニシテ 制臭 制泌 制腐作用ヲ呈ス 長ク持用スル時ハ 漸次ニ吸收セラレテ中毒ス

中毒症状 ヨードノ作用トシテ 蕁麻疹 濕疹ヲ來ス 外ニ 主トシテ精神障礙ヲ呈シ 不安 苦悶 頭痛 嘔吐 震顫 言語滯澀 錯迷 嗜眠 譫語 幻覺 痙攣 鬱憂 躁暴 發熱 心臓衰弱 死ニ至ル 眼症状トシテ慢性球外視神經炎ヲ來スコトアリ 極量 1 回 0.2 1 日 0.6

處方及其適用

- 塗布藥** 1. ヨードフォルム
毛筆又ハ撒布器ニテ創面又ハ結膜結核ニ塗布
- 膏劑** 2. ヨードフォルム 0.5-1.0
米國製白色ワセリン 10.0
眼外傷 角膜潰瘍 フリクテン 結膜結核ニ塗布 結膜結核ニハ 10-25%ヲ用ウベシ
- 油劑** 3. ヨードフォルム 5.0-10.0
グリセリン 50.0
眼窩 涙囊ノ結核性疾患ニ注入シ繃帶
4. ヨードフォルム 10.0
コロヂウム 90.0
眼瞼 手指其他ノ新鮮ナル創傷ニ塗布(ヨードフォルム・コロヂウム)

ヨードフォルム・ガーゼ ヨードフォルム 55.0 ヲ硫動パラフィン 3.0 酒精 400.0 エーテル 1000.0 ニ溶解シ精製ガーゼ 1000.0 ニ浸漬シタルモノヲ 暗所ニ乾燥セルモノニシテ 5%ノ ヨードフォルムヲ含ミ 眼窩 眼瞼 涙囊等ノ化膿性疾患ノ手術後挿入ス

アリストール Aristol. „Bayer.”

ヂ・チモール・ヂ・ヨードノ 赤褐色ナル粉末ニシテ無味 無臭水ニ溶解セズ 45.8%ノ ヨードヲ含ミ ヨードフォルムノ代用トス 臭氣ナク 且毒性少キモ 効

力モ亦之=劣ル

處方及其適用

膏劑	アリストール	1.0-2.0
	オレーフ油	3.0
	米國製白色ワセリン	16.0
	初メ アリストールヲ オレーフ油ニ加ヘ 微温ニテ溶解シタル後 ワセリンヲ研和ス 眼瞼ノ火傷 創傷 潰瘍 狼瘡=塗布	
2.	アリストール	0.1
	硫酸アトロピン	0.1
	米國製白色ワセリン	10.0
	細菌性角膜炎=1日1-2回點入 綳帶 虹彩 ノ炎症強キモノニハ硫酸アトロピンヲ2% トスベシ	
油劑	3. アリストール	0.5-1.0
	オレーフ油	10.0
	加温溶解セル後濾過シ 眼瞼緣炎 フリクテ ン 上鞏膜炎 結膜結核 角膜潰瘍=1日1-3 回點眼	

ノゾフェン

Nosophen.

フェノールフタレイン・テトラヨードノ淡黄色不溶解性結晶 臭氣ナシ 61.7%ノヨードヲ含ミ毒性弱ク比較的防腐力=富ミ 創傷ノ分泌物ヲ吸收スル性アリテ ヨードフォルム=代用ス

處方及其適用 (1)鞏膜炎 上鞏膜炎=1%ワセリントシテ輕ク按摩シ (2)眼瞼濕疹 潰瘍 外傷=2%ワセリントシテ塗布ス

ノゾフェン・ナトリウム (アンチノジン) Natrium nosophenicum (Antinosin) ハ水ニ溶解性ノ青色粉末ニシテ 0.1-0.5%液トシテ角膜潰瘍 フリクテン 眼瞼緣炎=點眼又ハ翳法料トス

オイロフェン

Europoen. „Bayer.”

ヨード・イソ・ブチール・オルト・クレゾールノ黄色粉末 水ニ不溶 アルコホル クロ、ホルムニ可溶 ヨードフォルム代用品トシテ防腐 防臭 殺菌=用フ 膏劑及油劑トシテ次ノ如ク適用

1.	オイロフェン	1.0-2.0
	オレーフ油	20.0
	濕疹 眼瞼緣炎ノ結痂融解=塗布	
2.	オイロフェン	1.0-1.5
	オレーフ油	3.0
	米國製ワセリン	30.0
	含水ヲノリン	15.0
	研和シ眼瞼濕疹 眼瞼緣炎 其他皮膚ノ潰瘍=塗布	
3.	オイロフェン	0.5-1.0
	硼酸	0.3
	米國製ワセリン	10.0
	適用2ノ如シ	

ヨドール

Jodol. „Kalle.”

テトラ・ヨード・ビルロールノ無臭 無味ナル褐色粉末 水ニ不溶 エーテル 酒精ニ可溶 防腐力アリテ

ヨードフォルムニ代用シ又ハヨードカリウム適應症ニ内服

撒布藥 1.	ヨドール	5.0
	甘永	5.0
	黴毒性潰瘍ニ適用	
2.	ヨドール(原)	
	潰瘍面ニ撒布	
膏劑 3.	ヨドール	0.1-5.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	腺病性潰瘍ニ塗布	

ヴィオフォルム

Vioform „Ciba.“

ヨードクロール酸化ヒノリンノ黄色無味ノ粉末水ニ不溶ヨードフォルムニ代用シテ其適應症ニ使用ス光ヲ遮リ貯フベシ

撒布藥 1.	ヴィオフォルム	10.0
	酸化亞鉛	10.0
	澱粉	10.0
	濕疹 潰瘍 濕潤性皮膚炎ニ適用	
膏劑 2.	ヴィオフォルム	0.5
	次硝酸蒼鉛	1.0
	ラノリン	10.0
	米國製ワセリン	10.0
	膿疱疹 分泌多キ濕疹ニ塗布	
3.	ヴィオフォルム	0.5
	酸化亞鉛	1.0
	米國製ワセリン	10.0
	適用 2 = 同ジ	

キセロフォルム(トリブロム石炭酸蒼鉛) Xeroform. (Bismutum tribromphenylicum.)

黄色中性ノ粉末ニシテ臭味ナク水酒精ニ溶解セズ強キ收斂防腐作用ヲ有シヨードフォルムノ代用品トシテ用キラル

處方及其適用

撒布藥 1.	キセロフォルム(原)	
	毛筆又ハ撒布器ニテ化膿セザル創面ニ撒布	
膏劑 2.	キセロフォルム	0.1-0.2
	米國製ワセリン	5.0
	ラノリン	5.0
	角膜上皮剝離 角膜潰瘍 角膜軟化症 結膜乾燥症 匍行性角膜潰瘍 トラホームパンヌスニ塗布シ輕ク縛帶ス	
3.	キセロフォルム	0.1-0.2
	米國製白色ワセリン	10.0
	適用 1 ノ如シ	
4.	キセロフォルム	0.5-1.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	(1)ヂフテリーニ塗布 (2)白内障其他ノ眼球手術ニ際シ結膜囊消毒ノ目的ニテ前日結膜囊ニ點入シ輕ク縛帶ス	
5.	キセロフォルム	5.0
	アラビアゴム	5.0
	グリセリン	5.0
	白陶土	10.0
	研和シ泥膏トナジ眼瞼皮膚ノ新創面縫合部	

=塗布シ綑帶

ノヴィフォルム

(テトラブロムブレンツカテヒン蒼鉛)

Noviform.

(Bismutum tetrabrombrenzcatechinicum.)

キセロフォルムノ改良品ナリ 灰黄色 無臭 無刺激性
ノ粉末 水ニ溶ケ難ク 收斂 防臭ノ作用強ク ヨードフォルムノ
改良用品ニシテ 殺菌力亦之ニ優ル

- 膏劑 1. ノヴィフォルム 0.2-0.3-0.5-1.0
米國製白色ワセリン 10.0
(1)外傷眼 角膜上皮剝離 角膜潰瘍殊ニ匱
行性角膜潰瘍ニ 1日 2-3回 結膜囊ニ點入
(2-5%) (2)膿漏眼 ギフテリー 急性細菌
性結膜炎ニ 夜間睡眠中 結膜囊ニ點入(5%)
(3)白内障其他ノ眼球手術ニ 結膜囊消毒ノ
目的ニ 1日間 結膜囊ニ點入(5-10%) (4)
眼瞼濕疹 眼瞼縁炎ニ 塗擦(2-5%) (5)鞏
膜炎 上鞏膜炎ニ 按摩(3-5%) (6)新鮮ナル
パンヌス 角膜表層炎ニ 1日 1-2回(2-5
%) (7)角膜翳ニ 1日 1-2回(3-5%)
2. ノヴィフォルム 0.2-0.3-0.5-1.0
流動パラフィン 0.5-1.0
米國製白色ワセリン 9.5-9.0
適用 1ノ如シ 冬季軟膏ノ凝固ヲ防ギ得
3. ノヴィフォルム 0.2-0.3-0.5-1.0
含水ラノリン 5.0

米國製ワセリン 5.0
適用 1ノ如シ

デルマトール(次没食子酸蒼鉛)

Dermatol. (Bismutum subgallicum.)

黄色無晶形ノ粉末ニシテ 臭味ナク 水ニ溶解セザレ
共組織液中ニハ少シク溶解シテ 收斂及防腐乾燥作用
ヲナシ 刺激性ナク ヨードフォルムニ代用ス

- 撒布藥 1. デルマトール(原)
毛筆又ハ撒布器ニテ 化膿セザル 創傷 潰瘍
ニ撒布
2. デルマトール 2.0
酸化亞鉛 10.0
澱粉 40.0
濕疹 癬癩ニ撒布
- 膏劑 3. デルマトール 5.0
米國製ワセリン 15.0
(1)角膜潰瘍ニ塗布 綑帶 (2)眼瞼濕疹ニ塗
布

アイロール(次没食子酸ヨード蒼鉛)

Airol. (Bismutum jodatum subgallicum.)

灰綠色殆ド無臭ノ粉末ニシテ 水ニ殆ド溶解セズ
濕氣及光線ニ遭ヒテ分解シ 褐色ニ變ズ 24.4%ノ
ヨードヲ含有シ 蒼鉛ノ收斂作用ト ヨード化合物ト
シテノ防腐作用トヲ兼ヌ 撒布藥及膏劑トシテ用ウ
原品ヲ毛筆ニテ化膿セザル 角膜及結膜創面 パンヌ
スニ撒布シ 或ハ5%軟膏トシテ 角膜潰瘍ニ點入ス
ルコト デルマトールノ如シ

過酸化水素水

Liquor Hydrogenii peroxydati.

無色澄明無臭ノ液ニシテ 微ニ苦味ヲ有シ 弱酸性ノ反應ヲ呈ス 常温ニテ徐々ニ煮沸スレバ急劇ニ酸素ヲ發生ス 3%以上ノ過酸化水素ヲ含有シ 組織血液濃汁 細菌ニ觸レテ酸素ヲ發シテ其ノ酸化ニヨリ表在性殺菌ヲ營ミ 潰瘍 創面ノ分泌物ヲ除去シ 血液ノ凝血性ヲ促進スルヲ以テ 消毒 汚物除去 止血等ノ目的ニ使用セラレ其純品(3%)ハ 0.1%昇汞水ト防腐力略ボ匹敵ス 褐色瓶ニ入レ(全ク滿スペカラズ密閉シテ冷暗所ニ貯フベシ

處方及其適用 細菌性結膜及角膜炎 眼瞼緣炎 急性淚囊炎切開後等ニ洗滌又ハ電法料トシ(過酸化水素水 2.0 水 100.0) 又純品(3%)ヲ治癒遷延セル弛緩性角膜潰瘍面ニ塗布シテ組織ノ新生ヲ促進ス
 ペルヒドロール Perhydrol „Merk.“ ハ 30% ペルキシール Perxyle (友田) オキシフル Oxyfull (三共) オキシハイド Oxihydro „Langley.“ ハ 3%ノ過酸化水素水ヲ含ミ デオキシシン Dioxin (長瀬) ハ 3%ヨリ 25-37%ノ濃度ノモノヲ有ス
 ペルボラックス Perborax (鹽野及三共) ハ約 8.5%重量ノ過酸化水素ヲ含メル硼砂(過酸化硼砂)ニシテ殺菌 消毒ノ目的ニ過酸化水素ニ代用シ 軟膏トシテ 5-10%ヲ眼瞼ノ潰瘍 濕疹ニ適用シ洗滌藥トシテ 1-3%溶液ヲ使用ス

フォルマリン(フォルムアルデヒード液)

Formalinum. (Formaldehydum solutum.)

メチールアルコールノ酸化體ニシテ 無色澄明 竄透

透性ノ臭氣ヲ有シ 中性又ハ弱酸性ノ反應ヲ呈シ 水酒精ニ任意ノ比ニ混和ス 100分中 35分ノ純フォルムアルデヒードヲ含ム 強大ナル殺菌力ヲ有シ 吸收作用ナキモ局所ノ刺戟強シ 皮膚ニ作用シテ表皮ノ粗糙 角變 剝離ヲ起シ 粘膜ニハ之ヲ刺戟シテ炎症ヲ發ス 光ヲ遮リテ貯フベシ

處方及其適用 居室ノ消毒ニハ 1立方メートルニ對シ 8.0ノフォルマリント 40.0ノ水トヲ噴霧發散セシメテ 12-24時間密封ス フォルムアルデヒードハ瓦斯體トシテ 水蒸氣ト共ニ凝着シテ細菌ヲ撲滅ス 但シ芽胞ハ抵抗ス 室内ノフォルムアルデヒードヲ去ルニハ窓ヲ開放スルカ或ハアンモニア水ヲ室内ニ噴霧スベシ

被服書籍類ノ消毒ニハ 104リールノ内容ニ對シ 30.0ノフォルマリントヲ用ウレバ 24時間ニテ被服ニ附着セル脾脫痘菌芽胞ヲ撲滅シ得 何レノ場合ニモフォルマリントノ消毒作用ハ物體ノ表面ニ附着セル細菌ヲ撲滅スルモノニシテ深達性ノ效果ナシ

フォルマリント水 Aqua formalinata ハフォルマリント 1分水 34分ヨリ成ル

リゾフォルム

Lysoform.

フォルムアルデヒードニテ飽和セルカリ石鹼水溶液ニシテ 水酒精ニ溶解シ 皮膚ヲ刺戟セズ 其防腐力ハ石炭酸 リゾールニ劣ルモ 石炭酸 1.0 リゾフォルム 2.0ノ比ノ液ハ防腐力ヲ増シ **カルボール・リゾフォルム** Carb-ol-Lysoform ト稱セラレ 其 3%液ハ 1%リゾールニ比シテ防腐力強シトイフ

處方及其適用 3%液ヲ器械消毒ニ 2-3%液ヲ
手指ノ消毒ニ用フ

ヘキサメチレンテトラミン(ウロトロピン)

Hexamethylenetetraminum. (Urotropin.)

無色ノ結晶又ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ 味初メ甘
ク 後微ニ苦シ 1.5分ノ水ニ溶解シ(約70%)酸性
反應ニ逢ヒテ分解シ フォルムアルデヒドヲ遊離
シ 防腐作用ヲ呈スルモ亦 アルカリ溶液ニテモ其効
アリトイフ 胃液ニ觸レテ分解シ 胃瘻ヲ起スコト
アルガ故ニ アルカリ劑ヲ伍用スベシ

内服藥	ウロトロピン	2.0-5.0
	重碳酸ナトリウム	3.0
	水	100.0

初メ 2.0 翌日 3.0 漸次増量 5.0 ニ至リ持續
ス 眼球手術後ノ傳染若クハ其豫防 全眼球
炎 轉移性眼炎等ノ初期ニ適用ス 連用ス
レバ蛋白尿ヲ來スガ故ニ時々檢尿スベシ

ヘルミトール Helmitol. „Bayer.” ハ無水メチーレン
枸橼酸 ヘキサメチレンテトラミンノ白色 結晶性粉
末ニシテ アルカリ性溶液ニテモ 防腐ノ効アリ 1日
3.0 ヲ毎食後ニ分服シ上記諸症ニ適用セラル

ヘサチラミン

Hesaciramin.

ウロトロピン及ウロトロピンマグネシウム複鹽ノ濃
厚注射液ニシテ靜脈内注射トシテ 1日 1回 1cc 重症
ニハ 1日 2回 眼球化膿 敗血症等ニ適用ス

タンノフォルム

Tannoform. „Merck.”

タンニン酸ト フルマリントノ凝縮物ニシテ類赤色
不溶性ノ粉末ナリ

膏劑	1. タンノフォルム	1.0
	米國製白色ワセリン	5.0
	含水ラノリン	5.0
	頭部及顔面濕疹 眼瞼縁炎ニ塗布	
	2. タンノフォルム	0.1
	米國製白色ワセリン	5.0
	流動パラフィン	5.0
	眼部及顔面火傷ニ塗布	

撒布藥	3. タンノフォルム(原)	
	濕潤性濕疹 褥瘡ニ撒布	

タンニン酸(タンニン)

Acidum tannicum. (Tannin.)

五倍子ノ主成分ニシテ 白色又ハ類黄色ノ輕キ粉末
又ハ光輝アル 鬆疎ノ鱗屑片ニシテ 味澁ク 5分ノ水
ニ溶解ス(20%) 粘膜炎 潰瘍面ニ觸レテ著シキ收斂
作用ヲ呈シ血管ヲ收縮シ防腐ノ効アリ 濃度強キモ
ノハ表在性腐蝕ヲ生ズルコトアリ 光ヲ遮リ貯フベ
シ

處方及其適用

點眼水	1. タンニン酸	0.1-0.5
	食鹽	0.1
	蒸留水	10.0
	慢性症ニシテ 組織弛緩シ 分泌多ク 充血ア	

ル結膜炎ニ1日3回點眼 溶液ハ長ク貯藏ニ堪ヘザルガ故ニ用ニ臨ミ調製シ患者自宅用トシテハ10.0以內ヲ與フベシ 被服ヲ汚染スル時ハ脱色シ難キ斑點ヲ生ズ

2. タンニン酸 0.1-0.5

硼酸 0.3

蒸溜水 10.0

適用1ノ如シ

電法料 3. タンニン酸 1.0-2.5-5.0

硼酸 15.0

水 500.0

頑固ナル眼瞼濕疹 潰瘍性眼瞼縁炎 分泌多キ慢性結膜炎ニ1日數回

塗布藥 4. タンニン酸 0.2-0.3

蒸溜水 10.0

慢性結膜炎ニテ膿性分泌物多キモノニ1日1回結膜ヲ蘸轉シテ塗布シ水洗ス

サリチール酸

Acidum salicylicum.

白色鍼狀ノ結晶又ハ輕鬆ノ結晶粉ニシテ 臭氣ナク 味甘酸且ツ苛辣ナリ 約500分ノ水ニ溶解シ(0.2%) 酸性ノ反應ヲ呈ス 防腐 鎮痒 制汗 角質溶解ノ目的ニ外用ス

處方及其適用

電法料 1. サリチール酸 0.5

硼酸 10.0

水 500.0

眼瞼濕疹 再發性麥粒腫 潰瘍性眼瞼縁炎ニ1日數回

膏劑 2. 酸化亞鉛ト伍用セルラッサル軟膏及其他ノ處方ハ酸化亞鉛ノ條參照

3. 硼酸ト伍用セル處方ハ硼酸ノ條參照

4. サリチール酸 0.01-0.05

米國製白色ワセリン 5.0

含水ラノリン 5.0

鱗屑性眼瞼縁炎 潰瘍性眼瞼縁炎ニ1日數回塗布

5. サリチール酸 0.01-0.05

レゾルチン 0.05-0.1

米國製白色ワセリン 10.0

適用4ノ如シ

撒布藥及振盪合劑 酸化亞鉛ノ條參照

[注意] 眼瞼及皮膚發疹ニシテ 滲出性素因ニヨルモノニハ酸化亞鉛 白降汞奏功シ 脂漏性素因ニヨルモノニハ サリチール酸効アリ 兩者トモニ炎症強キモノニハ錯酸礬土 レゾルチンヲ伍用スベシ(ロスト氏)

石炭酸

Acidum carbonicum.

無色尖長ナル結晶又ハ白色結晶性ノ塊ニシテ 特異ノ臭氣ヲ有シ 15分ノ水ニ溶解ス(約6.7%) 凝固點 39-

41°C 貯藏又ハ日光ニヨリテ多少類赤色ニ變ズ 強キ腐蝕作用ヲ有シ 蛋白質及膠質ヲ凝固壞死セシム 局所ハ初メ灼熱様疼痛 發赤ヲ來シ 次デ褐變シ 後組織萎縮シ 痂皮ヲ作り脱落ス 輕度ノ知覺麻痺ヲ生ズル特異作用アリ 防腐 消毒ノ目的ニ用ユルニハ食鹽(3%)又ハ酸(1% 酒石酸)ヲ加フレバ著シク効力ヲ増ス

中毒症狀 頭痛 眩暈 倦怠 譫妄 發汗 流涎 氣管枝分泌物増進 虛脱 死 極量 1 回 0.1 1 日 0.3

流動石炭酸 Acidum carbonicum liquefactum. ハ石炭酸 10.0 ヲ微温ニテ熔融シ 之ニ 蒸留水 10.0 ヲ加ヘタルモノニシテ 貯藏ノ温度 10°C 以內ナル時ハ固結ス 石炭酸ヲ水溶液トシテ應用スベキ準備ノタメ便宜上貯藏スルモノナリ

防疫用石炭酸 ハ多少ノ夾雜物ヲ含ミ 白色又ハ微紅色ヲ帶ブル尖長ナル結晶又ハ結晶性塊ニシテ凝固點 34°C 以上トス

處方及其適用

塗布藥 1. 石炭酸 0.3-0.5-1.0-5.0
蒸留水 10.0
細菌性角膜潰瘍ノ初期 又ハ進行期ニ硝子棒又ハ消息子ノ先端ニ濕ホシ 浸潤部ニ塗布腐蝕シテ進行ヲ停止セシム 塗布後直ニ

水洗ス 匍行性角膜炎ノ潰瘍ニハ効果少シ 流動石炭酸ヲ其ノマ、用ウルコトアリ

洗滌料 2. 石炭酸 2-5.0
食鹽 3.0
蒸留水 100.0

新鮮ナル創傷ノ洗滌ニハ 2% 細菌汚染ノ慢アルモノニハ 5% ヲ適用ス

其他 3. 石炭酸 2-5.0
蒸留水 100.0

(1)縫合絲ヲ貯藏スルタメ 5% 液ニテ 30 分乃至 1 時間煮沸シ其ノマ、容器ニ納メ密封シ貯フ (2)手術器械ハ 5% 液ニ浸漬シ 30 分以上経過セシメテ使用スルカ或ハ 1% ソーダ液ニテ煮沸シタル後 5% 液中ニ入レ貯ヘ使用ニ際シ滅菌水ニテ洗滌スベシ

〔注意〕 1. 稀薄液ニテモ電法料トスル時ハ角膜ノ表在性潤濁ヲ生ズ 用ウベカラズ

2. 5% 石炭酸ニ浸漬セル角板其他ノ器械ヲ直接角膜ニ觸ル、時ハ角膜腐蝕セラレテ白色ノ潤濁ヲ生ズルコトアリ

3. 誤テ石炭酸結晶片ノ眼中ニ飛入セル時ハ 中性油劑(流動パラフィン オレーフ油 ゴマ油)ニテ洗滌スベシ 水洗スル時ハ結晶溶解シテ廣汎性腐蝕ヲ生ズ

粗製クレゾール

Cresolum crudum.

クレゾールハ石炭酸ノ水素ノ 1 原子ガメチール基ニテ置換セラレタルモノニシテ メタ・オルト・パラクレゾールノ三種アリ メタクレゾール最モ殺菌力ニ

富ミ 毒性弱シ 粗製クレゾールハ多少ノ フェノールノ外 以上3種ノクレゾールヲ含メル類黄色乃至褐色 澄明 中性若クハ 微酸性ノ液ニシテ 水ヨリ重ク 焦性ヲ有シ 水ニ充分溶解セズ 石炭酸ニ比シ約2倍ノ消毒力ヲ有ス 中毒症状概ネ石炭酸ノ如シ創傷ノ洗滌 器械ノ消毒(1-3%)ニ使用セラル

クレゾール石鹼液

Liquor Cresoli saponatus.

粗製クレゾール 1.0 カリ石鹼液 1.0 ノ混液ニシテ黄褐色又ハ赤褐色澄明濃稠ノ液ナリ アルカリ性反應ヲ呈スルガ故ニ脂肪ヲ溶解ス 1-5%液トシテ創傷器械ノ消毒ニ用キラル

リゾール Lysol ハ局方クレゾール石鹼液ニ匹敵スル販賣品ニシテ 褐色澄明 水ニ溶解ス クレゾール石鹼液ノ如ク創傷ノ洗滌(0.5-1%) 器械及手指ノ消毒(2-5%)ニ用ウルモ 電法料トスル時ハ稀薄液ニテモ角膜ノ表在性潤濁ヲ生ズルコト石炭酸ノ如ナクガ故ニ用ウベカラズ

ソツォヨドール酸ナトリウム

Natrium sozojodolicum.

パラスルフォ石炭酸ノ水素原子ガ ヨードニテ置換セラレタル ソツォヨドール酸ノナトリウム化合物 無色 無臭 針狀ノ結晶 13分ノ水ニ溶解シ(約7%) 味初メ收斂性後甘シ 防腐藥トシテ其4%液ハ 2-3%石炭酸ニ匹敵ス

膏 劑 ソツォヨドール酸ナトリウム 0.05-0.2
米國製白色ワセリン 10.0

潰瘍性眼瞼縁炎 眼瞼濕疹ノ初期ニ適用(ジレックス氏)

洗滌藥 ソツォヨドール酸ナトリウム 1.0

蒸留水 10.0

慢性涙囊炎ニ消息子法ヲ行ヒタル後涙道洗滌(ジレックス氏)

レゾルチン

Resorcinum.

二價フェノール即メタ二酸化ベンツォオールニシテ無色或ハ微紅色ノ結晶 特異ノ臭氣ヲ有シ 味苛辣 微ニ甘シ 約1分ノ水ニ溶解ス 石炭酸ニ匹敵スル消毒力ヲ有シ 毒性之ニ劣リ 局所ヲ腐蝕スルコト微弱ナリ 皮膚ニ貼用シテ生ズル褐色斑ハ 枸橼酸ニテ消失セシメ得 分解シ易キガ故ニ黒色瓶ニ貯フベシ 不良品ハ皮膚及粘膜ニ炎症ヲ起シ易キガ故ニ良品ヲ選ミ用ウベシ

處方及其適用

點眼水 1. レゾルチン 0.05-0.2
クロールナトリウム 0.13
蒸留水 10.0
細菌性結膜及角膜炎 濕疹性フリクテン 葡萄狀球菌性眼瞼結膜炎ニ 1日數回 患者自宅用ニハ 0.25-1%液ヲ用ウベシ
2. レゾルチン 0.025-0.5
硫酸亞鉛 0.02

	薔薇水	2.0
	蒸餾水	8.0
	適用 1ノ如ク又重桿菌性結膜炎 = ヨシ 1日 數回 患者自宅用	
3.	レゾルチン	0.05-0.2
	硼酸	0.3
	蒸餾水	10.0
	適用 1ノ如シ	
洗滌料 4.	レゾルチン	0.5-3.0
	硫酸亞鉛	0.3
	蒸餾水	100.0
	慢性淚囊炎又ハ淚囊消息子法後涙道洗滌	
5.	レゾルチン	1.0-2.0
	クロールナトリウム	1.3
	蒸餾水	100.0
	細菌性結膜及角膜炎 = 適用	
眼浴及 電法料 6.	レゾルチン	0.5-1.0
	クロールナトリウム	1.3
	蒸餾水	100.0
	細菌性眼瞼緣炎 眼瞼濕疹 細菌性結膜及角 膜炎 = 1日數回	
膏劑 7.	レゾルチン	0.2
	酸化亞鉛	5.0
	澱粉	5.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	頭部及顔面濕疹 潰瘍性及鱗屑性眼瞼緣炎 再發性麥粒腫 = 塗布	
8.	レゾルチン	0.1
	イヒチオール	1.0
	米國製ワセリン	10.0

	鱗屑性眼瞼緣炎 = 塗布	
9.	レゾルチン	5.0
	沈降硫黃	5.0
	米國製ワセリン	30.0
	適用 7ノ如シ	
10.	レゾルチン	10.0
	含水ラノリン	20.0
	眼瞼狼瘡 表皮癌 = 塗布	

ピクリン酸

Acidum picrinicum.

淡黄色ノ光澤アル 葉狀又ハ 鍼狀結晶ニシテ 味甚ダ
苦ク 86分ノ水ニ溶解シ(1.2%)鮮黄色ヲ呈ス 防腐
ノ効アルモ 中毒ノ危険アルガ故ニ 廣汎性潰瘍 創傷
ニ用ウベカラズ 1%液ヲ 眼瞼潰瘍 濕疹ニ塗布シ
(ジレッキス氏)或ハ 罨法料ノ着色ニ用ウ

オイガロール

Eugalol. (Pyrogallolum monoacetylicum.)

類褐色舍利別狀ノ液ニシテ 33%ノ アセトンニテ稀
釋シ販賣ス 焦性没食子酸ト同効ニシテ作用及毒性
弱キモ 吸收セラレテ 嘔吐 血尿 虚脱ヲ來スコ
トアルガ故ニ 廣汎性ノ部分ニ用ウベカラズ 1-5%
バスタトナシ眼瞼濕疹ニ適用

レニガロール

Lenigalol. (Pyrogallolum triacetylicum.)

無色ノ不溶性粉末ニシテ輕キ腐蝕 殺菌作用ヲ有ス

オイガロールノ如ク眼瞼濕疹ニ單味又ハ5%亞鉛華ト伍シ1-5%バスタトシテ用ウ

クロール酸カリウム(鹽類)

Kalium Chloricum.

光澤アル結晶又ハ白色結晶性粉末ニシテ16分ノ水ニ溶解シ(6.3%)中性ノ反應ヲ呈ス 強キ酸化藥ナレドモ 溶液トシテハ此ノ性乏シク 僅ニ防腐作用アルノミ 引火シ易キガ故ニ火氣ニ注意スベシ

點眼水	クロール酸カリウム	0.1-0.3
	蒸餾水	10.0
	慢性結膜炎 春季加答兒 慢性トラホームニ	
	1日3回 患者自宅用	
電法及 眼浴料	クロール酸カリウム	1.0-5.0
	水	100.0
	慢性結膜炎 慢性トラホームニ適用	
含嗽料	クロール酸カリウム	1.0-2.0
	水	100.0
	示毒性口内炎 慢性咽頭炎ニ1日數回	

過マンガン酸カリウム

Kalium permanganicum.

紫黑色 金屬様光澤アル 結晶ニシテ 16分ノ水ニ溶解シ(6.3%)紫紅色ヲ呈ス 強力ナル酸化劑ニシテ有機質ヲ酸化スルヲ以テ殺菌防臭ニ用キラル 酸化シテ褐色ノ沈澱(褐石)ヲ生ジタルモノハ効ナシ 被服 皮膚ニ觸

ルレバ褐染ス コノ着色ハ亞硫酸水 次亞硫酸ソーダ水ニテ除キ得 日光ヲ遮リ貯フベシ

處方及其適用 細菌性結膜炎殊ニ膿漏眼ノ洗滌及 瘻法料トシテ 0.01-0.025-0.05%液ヲ用ウ 或ハ10%液ヲ滴瓶ニ入レ毎回100.0ノ水ニ2滴ヲ滴下スベシ(約0.03%)

硼酸

Acidum boricum.

無色ノ光澤アル鱗片狀結晶又ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ25分ノ酒精及水ニ溶解シ(4%)熱湯ニハ33%マデ溶解シテ極メテ弱キ酸性反應ヲ呈ス 消毒力ハ絲球菌ノ分芽菌ニ對シテハ相當ノ殺菌作用アレ共 多クハ細菌ノ發育ヲ抑制スルニ過ギズ 解離度少キガ故ニ蛋白質ヲ沈澱セズ 又タ局所ヲ刺戟スルコトナク 輕キ收斂作用ヲ呈ス

處方及其適用

點眼水	1. 硼酸	0.2
	茴香水	2.0
	蒸餾水	8.0
	角膜疾患 フリクテン 春季加答兒ニ1日數回 患者自宅用	
	2. 硼酸	0.2
	硼砂	0.1

	蒸留水	10.0
	適用1ノ如シ 殆ド中性液ナリ	
3.	硼酸	0.1
	硼砂	0.2
	蒸留水	10.0
	適用1ノ如シ 微アルカリ性液ナリ	
膏劑 4.	硼酸	0.2-0.3
	米國製白色ワセリン	10.0
	外傷 手術 火熱等ノ濕布繃帶等ニ用ウ (無刺激性膏劑)	
5.	硼酸	0.3
	サリチール酸	0.01-0.05
	米國製白色ワセリン	10.0
	適用4ノ如ク細菌汚染ノ場合ニヨシ	
洗滌及 電法料 6.	硼酸	2.0
	硼砂	1.0
	クロールナトリウム	1.0
	水	100.0
	外眼部一般ノ疾患ニ汎用	
7.	硼酸	2.0-3.0
	サリチール酸	0.05-0.1
	水	100.0
	適用6ノ如シ 特ニ細菌汚染アルモノニヨシ	
8.	硼酸	2.0-3.0
	酸化青酸汞	0.02
	水	100.0
	適用7ノ如シ	

硼砂(硼酸ナトリウム)

Borax. (Natrium boricum.)

白色ノ堅キ結晶又ハ結晶性塊片ニシテ 約25分ノ水ニ溶解シ(4%) 熱湯ニハ200%マデ溶解ス 溶液ハ弱アルカリ性反應ヲ呈シ 弱キ殺菌 輕キ收斂作用アリ

處方及其適用

點眼水 2-3-4%溶液トシテ角膜疾患 フリクテン 慢性結膜炎ニ適用スルコト硼酸ノ如シ 硼酸ト伍用セル處方ハ硼酸ノ條下ニ記述セリ

膏劑 2-3%膏劑トシテ硼酸ニ於ケルガ如ク用ウ
電法及洗滌料 硼酸ニ於ケルガ如シ

ピチロール

Pityrol. (日本新藥)

米糠ヲ乾餾セル帶黒褐色液 特異ノテール様臭氣アリ

處方及其適用

膏劑 1.	ピチロール	5-10-20.0
	ラッサル氏バスタ	100.0
	濕疹 皮膚炎 皮膚濕爛ニ塗布	
2.	ピチロール	10.0
	焦性没食子	5.0
	サリチール酸	3.0
	米國製ワセリン	100.0
	皮膚狼瘡ニ塗布	

3. ビチロール	10.0
レゾルチン	5.0
サリチール酸	3.0
米國製ワセリン	100.0
頭部頑癬 = 塗布	
4. ビチロール	10.0
酸化亞鉛	10.0
米國製ワセリン	100.0
顔面濕疹 = 塗布	
塗布薬 5. ビチロール	10.0
アルコール	10.0
エーテル	10.0
頭部及顔面濕疹 = 塗布	
6. ビチロール	10.0
オレーフ油	100.0
鼻腔濕疹 = 塗布	

ネオビチロール

Neopityrol. (日本新薬)

ビチロールヲ改良シ無臭トセルモノニシテ處方及適用ビチロールニ同ジ

イヒチオール

(スルフォイヒチオール酸アンモニウム)

Ichthyol. (Ammonium sulfoichthyolicum.)

帶赤褐色ノ舍利別稠液ニシテ焦性ノ臭氣ヲ有シ水ニ
澄明ニ混和シ酒精 エーテル 石油ペンチンニ僅ニエー

テル酒精混液ニ殆ド全ク溶解ス 局所ニ輕度ノ刺戟ヲ與
ヘ殺菌力ヲ有シ血管ヲ收縮シ消炎 吸收 誘導 鎮痛ノ
作用アリ

處方及其適用

塗布薬 1. イヒチオール(原)

眼瞼又ハ顔面丹毒ニ發赤部ヲ越ヘテ廣ク塗
布シ油紙ニテ覆フ

2. イヒチオール 20.0
ワゾーゲン 80.0

適用1ノ如シ 又麥粒腫 急性涙囊炎ニ用ウ

3. イヒチオール 5.0-10.0
蒸溜水 10.0
結膜炎ニ眼瞼ヲ翻轉シテ1日1回塗布 1-2
分間按摩(バナ氏)

4. イヒチオール 5.0
グリセリン 1.0
蒸溜水 4.0
結膜炎ニ眼瞼ヲ翻轉シテ塗布シ 30 秒乃至
1 分後水洗ス

5. イヒチオール 5.0
酸化亞鉛 5.0
ゼラチン 5.0
蒸溜水 25.0
グリセリン 25.0

眼瞼濕疹ニ豫メ痂皮ヲ除去シ塗布 (フォン
ミッヘル氏)

眼浴料 6. イヒチオール 0.5
水 100.0

酒渣鼻性結膜炎 = 1日數回 (エルシユニヒ氏)

膏劑 7. イヒチオール	0.15
酸化亞鉛	5.0
澱粉	3.0
米國製白色ワセリン	15.0

(1)潰瘍性眼瞼緣炎 鱗屑性眼瞼緣炎 = 1日數回塗布 (2)フリクテン 重桿菌性結膜炎 = 1日3回點入

8. イヒチオール	0.1-1.0-10.0
米國製白色ワセリン	10.0

(1)春季加答兒 = 1日3回 (1-10%) (アクセンフェルド氏) (2)眼瞼濕疹 眼瞼緣炎 = 1日1-2回 (50%) (アクセンフェルド氏) (3)同上 (5%) (フックス氏)

オイチオール Euthiol (友田) 無臭イヒチオールニテ水酒精ニ溶解シイヒチオールノ如ク適用ス
パンチオール Panthiol (ラジウム) 精製イヒチオールニシテアルコールグリセリンニモ溶解ス 其ノ處方及適用イヒチオールニ同ジ

チオノール Thionol (三共) 硫黃10%ヲ含メル無臭イヒチオールノ赤褐色濃稠液ニシテイヒチオールノ如ク適用ス

チオノールカルシウム Thionol-calcium (三共) ハチオノールニカルシウムヲ結合セシメタル褐色粉末ニシテイヒチオール適應症ニ外用ス

ナフタラン

Naftalan.

蠟油ヨリ製セル褐色粘稠性物質ニシテ水ニ溶ケ難ク

脂肪トハ容易ニ混和ス 鎮痛 鎮痒 消炎 消毒ノ効アリ タール及イヒオールノ如ク用ウ

ナフアラン Nafalan ハ ナフタラント殆ト同効 同質ノモノナリ 共ニ主トシテ膏劑トシテ用ウ

1. ナフタラン	50.0
酸化亞鉛	25.0
澱粉	25.0

バスタトナシ眼瞼膏劑トシテ眼瞼緣炎 濕疹ニ用ウ

2. ナフタラン	25.0
無水ラノリン	25.0
適用1ノ如シ	

3. ナフタラン	10.0
米國製ワセリン	100.0
適用1ノ如シ 又小兒ノ頭部濕疹ニ塗布 鼻腔ノ濕疹ニハ棉花ニ塗布シ挿入スベシ	

ツメノール

Tumenol.

暗黄色濃厚ノ液體ニシテ殺菌作用ナキモ乾燥 消炎 鎮痒作用アリテ殊ニ癢痒アル皮膚疾患ニ適ス 又イヒチオールニ代用セラル 洗滌料及膏劑トス 即チ (1) 1-5%液トシテ外皮ノ潰瘍 濕疹ニ用キ 0.5-1%液トシテ結膜炎ニ用法ス (2) 5-10%ヲ單味又ハ酸化亞鉛ト和シイヒチオールノ如ク膏劑トス (イヒチオール参照)

ツメノール・アンモニウム

Tumenol-Ammonium. „Hoechst.“

褐色中性油状ノ物質ニシテ水ニ溶解ス ツメノール
ニ 1.4%アンモニウムヲ含ミ 作用ツメノールノ如
クニシテ其刺戟更ニ僅少ナリ ツメノール及イヒチ
オールノ如ク適用ス

- 膏劑**
- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1. ツメノールアンモニウム | 0.5-1.0 |
| 米國製ワセリン | 10.0 |
| 癢痒性濕疹 皮膚炎 鱗屑性眼瞼縁炎 潰瘍
性眼瞼縁炎ニ塗布 | |
| 2. ツメノールアンモニウム | 0.5-1.0 |
| 酸化亞鉛 | 1.0 |
| 米國製ワセリン | 10.0 |
| 適用1ノ如シ | |
| 3. ツメノールアンモニウム | 0.5-1.0 |
| 酸化亞鉛 | 1.0 |
| サリチール酸 | 0.02 |
| 米國製ワセリン | 10.0 |
| 濕潤性濕疹 潰瘍 瘡 麥粒腫 其他ノ細菌性
濕疹ニ塗布 | |
- 塗布藥**
- | | |
|----------------------------------|-----------|
| 4. ツメノールアンモニウム | 10.0-20.0 |
| 硫酸エーテル | 30.0 |
| 酒精 | 30.0 |
| 水(又ハグリセリン) | 30.0 |
| 混和 爲ツメノール丁酸 乾燥癢痒性濕疹
痒疹 皮膚炎ニ塗布 | |

リワノール

Rivanol. „Hoechst.“

ジアミノ・アクリヂン・クロールヒドレートノ粉末ニ
シテ水 アルコホルニ可溶 耐熱性ナリ 組織ヲ刺

戟スルコト少キ防腐藥ナリ

處方及其適用 瘡 膿瘍 麥粒腫 皮下蜂窩織炎ヲ
切開セル後 0.1-0.2%液ヲ生理食鹽水ニテ作り 膿
竈内注入 之ニ ノヴォカインヲ加フレバ疼痛ヲ減ズ

鹽酸オプトヒン

Optochinum hydrochloricum.

規那アルカロイドニ屬スル クブレインノ誘導體ニシ
テ 鹽酸エーテル水化クブレイン Aethylhydrocupreinum
hydrochloricum トイフ 無色ノ結晶ニシテ水ニ溶解ス
モルゲンロート レヴィ氏等ニ據レバフレンケル氏肺炎
菌ニ 特異殺菌作用アリテ 肺炎 肺炎菌性 アンギーナ 匐
行性角膜潰瘍ノ初期ニ効アリ 内服スル時ハ副作用トシ
テ耳鳴 難聽 一過性弱視 又ハ黒内障ヲ來シ 持續服用ニ
ヨリテ キニーネ中毒ト同様ノ中毒症狀ヲ呈シ眼華閃發
視力減退アリテ 視野狹窄 動脈狹小 網膜浮腫 神視經乳
頭蒼白等ノ眼症ヲ呈ス 此ノ豫後ハ早期ニ其使用ヲ廢セ
バ佳良ナルモ 然ラザレバ多少ノ視力障碼ヲ殘ス 硝酸
アミルノ吸入ヨシ 溶液ハ變化シ易ク數日ニシテ効力ヲ
減ズ 既ニ3週ヲ經タルモノハ殆ド効ナシ

鹽酸レミジン Remijinum hydrochloricum ハ邦製オブ
トヒンナリ

處方及其適用

- 點眼水** 1. 鹽酸オプトヒン 0.1-0.2
蒸溜水 10.0
匱行性角膜潰瘍ノ初期 = 1-2 時間毎 = 結膜囊 = 充分行キ渡ル如ク點眼ス 2%液ハ刺戟稍強シ 多クハ 2-3 日ニシテ潰瘍ノ進行停止スルモ 潰瘍深行セバ效果乏シ
- 眼浴料** 2. 鹽酸オプトヒン 0.5
蒸溜水 100.0
匱行性角膜潰瘍 = 1 日數回微温ニテ行フ
- 塗布藥** 3. 鹽酸オプトヒン 0.3-0.5
蒸溜水 10.0
匱行性角膜潰瘍面 = 硝子綿棒ニテ塗布シ潰瘍ノ邊緣少シク潤濁スルニ至リテ止ム 塗布後水洗セズ 疼痛強キガ故ニ豫メ コカインヲ點眼スベシ
- 洗滌料** 4. 鹽酸オプトヒン 1.0
蒸溜水 100.0
肺炎菌性慢性涙囊炎 = 豫メ コカイン・アドレナリンヲ送リタル後涙囊洗滌
- 膏劑** 5. 鹽酸オプトヒン 0.1-0.2
米國製白色ワセリン 10.0
匱行性角膜潰瘍 = 1 日 2-3 回結膜囊内點入 或ハ夜間睡眠中之ヲ行ヒ 加温綿帶ヲ施スベシ 有効期間 1 週間
6. 鹽酸オプトヒン 0.1-0.2
鹽酸スコポラミン 0.1
米國製白色ワセリン 10.0
適用 5ノ如シ 鹽酸オプトヒンニスコポラミン又ハアトロピンヲ伍用スル時ハ鹽酸

スコポラミン又ハ鹽酸アトロピンヲ用ウベシ 硫酸鹽ヲ用ウル時ハ不溶性無効ノ硫酸オプトヒンヲ生ズ

桂皮酸ナトリウム (ヘトール)

Natrium cinnamyllicum. (Hetol, „Kalle.”)

無色可溶性ノ粉末ナリ 桂皮酸ハ ベルバルサムノ一成分ニシテ白血球ノ新生ヲ促シ 結核性疾患ノ癥瘕治癒ヲ催進スル作用アリ

處方及其適用 (1) フリクテン 鞏膜炎 結核性虹彩毛様體炎 其他ノ 結核性眼疾患 = 初メ 0.001 ヲ隔日ニ 靜脈内注射シ漸次増量 3-5 週後 = 0.005-0.01 = 至ル (2) 0.2%液ヲ鞏膜炎 上鞏膜炎 = 1/3 筒結膜下注射シ漸次増量 1 筒以上ニ及ブ

エタインキシル

Etainoxyl. (鹽野)

純錫ノ酸化粉末ニシテ 灰色ヲ帶ブ 諸種ノ葡萄狀球菌病 (濕疹 癬 癰 蜂窩織炎 其他) = 1 日量 1-2.0 ヲ 3 回ニ内服

オクソチン

Oxozin. (三共)

錫 亞酸化錫 酸化錫ノ化合物ニシテ 眼瞼濕疹 反覆性麥粒腫 癬 癰 其他葡萄狀球菌病 = 1 日量 1.0-2.0 ヲ 3 回ニ内服

アルコール(酒精) Alcohol. (Spiritus.)

局方酒精ハ比重 0.830-0.834 = シテ 100 容量中 91.29-90.09 容量或ハ 100 分中 87.35-85.80 分ノ純エチールアルコールヲ含有ス 又局方純アルコール Alcohol absolutus ハ比重 0.796-0.797 = シテ 100 容量中 99.66-99.46 容量或ハ 100 分中 99.44-99.11 分ノ純エチールアルコールヲ含ム 容易ニ組織内ニ侵入シ脂肪ヲ溶解スルガ故ニ藥物ヲ酒精溶液トスレバ皮膚ニ侵入シ得ザルモノヲモ之ヲ可能ナラシム 蛋白質ヲ沈澱セシメ 水ヲ吸収シ殺菌作用アリ 殺菌力ハ無水酒精ニ弱ク 50-70% 酒精ニ最強シ 70%以上ハ粘膜ヲ腐蝕ス

處方及其適用

- 注射科** 1. 15% アルコール水溶液
(1)硝子體潤濁 脈絡膜炎 = 1週 2-3 回 0.5-1.0 cc ヲ結膜下ニ注射 (2)失明眼ノ疼痛ニハ球後ニ注射ス
2. 80% アルコール水溶液
三叉神經痛 麻痺性角膜炎ニハ ガッセル氏 神經節ニ 眼瞼痙攣症ニハ 顔面神經幹ニ各 1.0 cc 注射
- 塗布藥** 3. ブランデー 50.0
ラヘンデル精 10.0

- グリセリン 1.5
沈降硫黃 50.0
眼瞼濕疹 潰瘍性眼瞼緣炎 再發性麥粒腫 = 1日2回
4. サリチール酸 0.05-0.2
酒精(局方) 1 0.0
鱗屑性眼瞼緣炎 = 塗布 結膜及角膜 = 觸ル
ハヲ避クベシ

濕布料 5. 無水アルコール

顔面丹毒 初期全眼球炎 = 濕布

- 消毒科** 6. 酒精(局方) 70.0
蒸餾水 30.0
60-61% アルコール溶液ニシテ棉花綿紗ニ浸シテ手術野ノ清拭消毒用トシ 又タ注射器 注射針 縫合絲ヲ消毒シ貯フ 注射針ヲ貯フル場合ハ防錆ノタメ炭酸ソーダノ粉塊ヲ投入スベシ

クロール水

Aqua chlorata.

澄明帶黄綠色ノ液ニシテ約 0.4% ノクロールヲ含ム 常ニクロールヲ發生シ窒息臭アリ 日光ニヨリテ鹽酸トナルガ故ニ光ヲ遮リ貯フベシ 常ニ新鮮ナルモノヲ撰ミ 用ニ臨ミテ反應ヲ檢シ酸性ナルベカラズ

- 點眼水** 1. クロール水(原)
化膿性角膜炎 細菌性結膜炎 = 1日3回
- 塗布藥** 2. クロール水(原)
化膿性角膜炎 反復性角膜上皮剝離 角膜へ

ルペス等ニテ治癒シ難キモノニ潰瘍又ハ上
皮剝離部ヲ綿棒ニ濕ホシテ塗布シ水洗

電法科 3. 細菌性結膜炎 化膿性角膜炎ニ1食匙ヲ半
リートルノ水ニ加ヘ1日3回 25分間適用

石油ペンチン

Benzinum Petrolei.

石油中低温ニテ沸騰スル部分ニシテ無色澄明 點火
シ易キ揮發性液ニシテ中性ノ反應ヲ呈ス 比重 0.64
-0.67 ニシテ水ニ溶解セズ 主トシテヘキサン He-
xan 及ヘプタン Heptan ヨリ成ル

塗布薬 1. 石油ペンチン 25.0
オレーフ油 25.0

小兒ノ頭部毛虱ニ塗布シ 3-12時間後石鹼
ニテ洗滌

2. 石油ペンチン綿

脱脂綿ニ石油ペンチンヲ濕ホシ 手術野ノ
清拭ニ用ウ ヨード丁幾ニヨリテ濕疹 皮膚
炎ヲ起シ易キモノニ代用シ可ナリ

3. 疥癬ニハ布片ニテ患部ヲ摩擦シテ充血ヲ起
サシメ次ニ綿花ニ石油ペンチンヲ濕ホシ塗
布

木タール

Pix liquida.

Pinus 屬植物ノ木材ヲ乾餾シテ作レルモノニシテ帶
黒褐色半透明濃稠ナル液ナリ 特異ノ臭氣アリ

膏劑 1. 木タール 10.0

黄蠟 4.0

研和 爲木タール軟膏 慢性皮膚炎 濕疹ニ
塗布

2. 木タール 1.0

酸化亞鉛 1.0

昇華硫黄 1.0

豚脂 1.0

牛脂 2.0

研和 爲木タール pasta(釜硫膏) 慢性皮膚
疾患 疥癬ニ塗布

3. 木タール 1.0

昇華硫黄 1.0

カリ石鹼 2.0

安息香豚脂 2.0

精製滑石 0.5

研和 爲ウィルキンソン軟膏 疥癬其他ノ慢
性皮膚疾患ニ塗布

4. 木タール 10.0

流動パラフィン 5.0

米國製ワセリン 5.0

鱗屑性眼瞼縁炎ニ臨臥塗布 結膜ニ入ルヲ
避クベシ

血炭

Blutkohle.

血液ヲ乾餾シテ作ル 骨炭末ノ如ク細菌 分泌物ヲ吸
收シ惡臭ヲ去ル 微細ノ粉末ニ研磨シ膿漏眼ノ結膜
囊ニ撒布スレバ分泌ヲ減ジ細菌量ヲ少クス(フック
ス氏)

〔附記〕 腐蝕及收斂劑ハ同時ニ殺菌(防腐)作用アリ
参照スベシ

IX. 腐蝕及收斂藥

硫酸銅

Cuprum sulfuricum.

硫酸銅ハ5分子ノ結晶水ヲ含ミ 3.5分ノ水ニ溶解シ
(28.5%) 酸性ノ反應ヲ呈ス 組織ニ觸ル、時ハ蛋白銅
酸蛋白ヲ作り 濃度高キ時ハ腐蝕作用ヲ 稀薄ナレバ收斂
作用ヲ營ムコト重金屬一般ノ性質ヲ帶ブ 硝酸銀ヨリモ
作用弱ケレ共 刺戟強シ 急性結膜炎ノ 消退期 慢性結膜
炎等ニテ刺戟症狀及分泌減少シ 主トシテ組織ノ肥厚 増
殖アルモノニハ 硝酸銀ノ使用ヲ廢シ 本劑ニ移ルヲ 適法
トス 結膜炎ニ續發セル 加答兒性角膜潰瘍ニシテ 潰瘍
面ニ未ダ上皮ノ完全ナル再生ナキモノニハ禁忌スベシ
コレ其ノ強キ刺戟ノタメニ潰瘍増悪スルヲ以テナリ

硫酸銅ニ因ル眼障 硫酸銅ハ濃厚液(10-20%)ニ

テモ 角膜潤濁ヲ起スコトナキモ 硫酸銅桿又ハ 銅礬桿ヲ
角膜ニ 直接觸ル、カ 或ハ其ノ結晶ヲ 結膜囊ニ入ル、時
ハ 角膜ノ表在性白濁 結膜腐蝕ヲ生ズ 然レ共其ノ作用
ハ 表在性ニシテ 1日乃至數日ニテ 消散スルモノナリ
故ニ 硫酸銅桿又ハ 銅礬桿ヲ 結膜面ニ 塗布スルニハ 必ず下
眼瞼ニテ 角膜ヲ被覆シ 桿ノ角膜ニ 直接觸ル、コトナカ
ラシムベシ(桿劑参照)

硫酸銅液ヲ長ク 使用スル 時ハ 漸次角膜ニ一種特有ナル
潤濁ヲ生ズ 即チ上下角膜縁ニ 老人環初期ノ 狀ニ 彷彿
セル 赤褐色 又ハ 赤色ノ 輪帶ヲ生ジ 此ノ中ニ 銅顆粒ヲ 證
明ス 時トシテ 全角膜殊ニ 其上下部ニ 著明ナル 帶綠色 又
ハ 帶黃色ノ 潤濁ヲ起スコトアリ

處方及其適用

桿劑 1. 硫酸銅桿

硫酸銅ノ大ナル 結晶ヲ 削リ 又ハ 砥石ニテ
磨キ 滑澤トセルモノニシテ 急性結膜炎ノ
消退期 慢性結膜炎ニテ 分泌ナキモノ 及慢
性トラホームニ 結膜面塗布(桿劑参照) 初
メ1日1回 後2日乃至數日ノ 間隔ヲ置キ
行フ 塗布後刺戟強ケレバ 冷電法ヲ行フ

點眼水 3. 硫酸銅 0.5-1.0

グリセリン 5.0

蒸餾水 5.0

初メ蒸餾水ニ 硫酸銅ヲ 溶解シ 之ニ グリセ

リンヲ加フベシ 急性結膜炎ノ末期 慢性結膜炎 トラホームノ輕快期ニ轉セル結膜面ニ1日1回點眼シ後水洗ス

2. 硫酸銅 0.03-0.05-0.1
 硼酸 0.2
 蒸溜水 10.0

分泌ナキ慢性結膜炎 慢性トラホームニ患者自宅用トシテ患者ニ交付シ 1日2-3回點眼 輕快スルニ及ビ濃度ヲ低クスベシ
 パンヌスアリテモ差支ナシ

4. 硫酸銅 0.025
 茴香水 2.0
 クロールナトリウム 0.1
 蒸溜水 8.0
 適用3 = 同ジ

5. 硫酸銅 0.03-0.05
 薔薇水 5.0
 グリセリン 5.0
 適用3 = 同ジ

6. 硫酸銅 0.02
 明礬 0.02
 硼酸 0.2
 蒸溜水 10.0
 適用3 = 同ジ

膏劑 7. 硫酸銅 0.1-0.3
 米國製白色ワセリン 10.0
 研和シ1日1回 慢性トラホーム 慢性結膜炎ニ點入 パンヌスアルモ差支ナシ

8. 硫酸銅 0.05-0.1-0.15
 精製樟腦 0.1

米國製白色ワセリン 10.0

慢性トラホームニ1日1-3回點入 患者自宅用 パンヌスアルモノニモ差支ナシ

注射料 9. 硫酸銅 0.5-0.8
 蒸溜水 100.0

煮沸滅菌 鞏膜炎ニ豫メ コカインヲ點眼シ本劑 0.3-0.5 ccヲ局所結膜下ニ注射ス 疼痛アルガ故ニ氷罨法ヲ數時間行フベシ (河本氏) 角膜實質炎ニ角膜縁ニ注射シテ進行ヲ頓挫セシメ得(瀬戸氏)

銅 礬

Cuprum aluminatum.

神効石 (Lapis divinus) トモイフ 硫酸銅 硝酸カリウム 明礬 各10分ヲ熔カシ 精製樟腦末 1.0ヲ加ヘ小梃子トナシタルモノニシテ 硫酸銅結晶ニ比シテ 其作用緩和ナリ 樟腦ヲ揮發スルガ故ニ密栓シテ瓶中ニ貯フベシ

處方及其適用 (1) 桿劑トシテ硫酸銅桿ノ如クトラホーム 慢性結膜炎ニ塗布シ (2) 0.2-0.5%液トシテ同症患者ノ自宅用點眼水トス

枸橼酸銅 (ケプロシトロール)

Cuprum citricum. (Cuprocitrol.)

綠色ノ細末ニシテ 水ニ僅ニ溶解ス 收斂作用アルモ 刺戟性弱ク 從テ疼痛少シ 硫酸銅ト効力同ジキモ作用

淺表ニシテ癩痕ヲ形成セズ

膏劑	1. クプロシトロール	0.5-1.0
	グリセリン軟膏	10.0
慢性トラホーム パンヌスニ結膜囊ニ點入 輕按摩 1日 1-2回 (フォンアルト氏)		
2.	クプロシトロール	0.5
	米國製白色ワセリン	10.0
適用 1ノ如シ		

可溶性枸橼酸銅(クシロール)

Cuprum citricum soluble.

(Cusylolum.)

綠色ノ粉末ニシテ容易ニ水ニ溶解ス 腐蝕作用ナク輕
キ收斂作用アリ

點眼水	1. クシロール	1.0-2.0
	蒸留水	10.0
1日 1-3回 慢性トラホームニ用ウ		
2.	クシロール	0.05
	硼酸	0.3
蒸留水 10.0		
1日數回 慢性トラホームニ患者自宅用(フ ォンアルト氏)		
膏劑	3. クシロール	0.1
	精製樟腦	0.1
	米國製白色ワセリン	10.0
1日 1-3回 慢性トラホームニ患者自宅用 トシテ交付ス		

クプロール

Cuprol.

スクレイン銅 Cuprum nucleinum ニシテ 6%ノ銅ヲ有
スル 綠色ノ粉末ナリ 徐々ニ水ニ溶解ス 10% 溶液ト
シテ慢性トラホームニ用ウ

酸化亞鉛(亞鉛華)

Zincum oxydatum.

白色又ハ微ニ類黃色ヲ帶ブル 無晶形粉末ニシテ 水ニ
溶解セズ 潰瘍面ニ撒布スル時ハ組織液ヲ吸收シテ乾燥
セシメ 一部ハ組織液ニ溶解シテ收斂作用ヲ呈ス 滲出
性體質ノ發疹ニ効アリ

處方及其適用

撒布藥	1. 酸化亞鉛	10.0
	澱粉	10.0
研和 皮膚濕疹 糜爛ニ撒布(亞鉛華澱粉)		
2.	酸化亞鉛	25.0
	澱粉	25.0
サリチール酸 0.3		
適用 1ニ同ジ 細菌ノ汚染アルモノニ殊ニ 可ナリ 痂皮アルモノハ豫メ之ヲ除去スベ シ		
3.	酸化亞鉛	5.0
	炭酸マグネシウム	5.0

	澱粉	20.0
	適用 1 = 同ジ	
膏劑 4.	亞鉛華	1.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	研和 適用 1 = 同ジ	
5.	亞鉛華	0.5-1.0
	サリチール酸	0.05
	米國製白色ワセリン	10.0
	適用 2 = 同ジ 細菌性結膜炎 = テ 夜間眼瞼ノ膠着ヲ防グタメ眼瞼縁 = 塗布	
6.	酸化亞鉛	5.0
	澱粉	5.0
	サリチール酸	0.1
	米國製白色ワセリン	10.0
	小兒ノ頭部及顔面濕疹 = 痂皮ヲ除去シテ塗布	
7.	酸化亞鉛	5.0
	澱粉	5.0
	サリチール酸	0.5
	白陶土	0.3
	米國製白色ワセリン	10.0
	適用 6 ノ如シ (ミッヘル氏)	
8.	亞鉛華	1.5
	イヒチオール	0.15
	米國製白色ワセリン	15.0
	研和 眼膏劑トナシ 結膜按摩用 (慢性結膜炎)	
9.	酸化亞鉛	1.0
	次硝酸蒼鉛	1.0
	單軟膏	10.0
	緩和軟膏	10.0

	研和 皮膚濕爛 = 塗布 (ナイセル氏亞鉛華 硝蓋軟膏)	
10.	酸化亞鉛	0.1-1.0
	イヒチオール	0.1
	澱粉	1.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	研和 重桿菌性眼瞼縁炎 慢性結膜炎 眼瞼濕疹 = 適用 (ペーテルス氏亞鉛華イヒチオール軟膏)	
11.	酸化亞鉛	4.0
	木タール	1.5
	米國製白色ワセリン	10.0
	小兒ノ頭部濕疹 = 塗布	
12.	酸化亞鉛	10.0
	木タール	10.0
	昇華硫黃	10.0
	豚脂	10.0
	研和 癢痒性皮膚濕疹 = 塗布 (タールパスタ)	
13.	酸化亞鉛	5.0
	安息香酸	1.0
	豚脂	30.0
	先ヅ安息香酸ヲ研磨シテ細末トナシコレニ酸化亞鉛ヲ加ヘ 少量ノ豚脂ヲ煉リ合セ 漸次殘餘ノ豚脂ヲ加フ (ウィルソン氏軟膏)	
14.	酸化亞鉛	2.0
	澱粉	2.5
	チオノール	0.5
	米國製白色ワセリン	5.0
	研和 眼瞼濕疹 = 塗布	

15. 酸化亞鉛	10.0
安息香豚脂	90.0
研和 皮膚濕疹=適用 (亞鉛華軟膏)	
16. 酸化亞鉛	5.0
澱粉	5.0
サリチール酸	0.25
米國製白色ワセリン	10.0
研和シ 濕疹 潰瘍 糜爛 皮膚表皮剝離等ニ ヨシ(ラッサル氏 pasta)	
油劑 17. 酸化亞鉛	10.0
オレーフ油	10.0
火傷 皮膚糜爛 濕疹ニ用ウ (亞鉛華オレー フ油) オレーフ油ノ代リニ純粹ナル胡麻油 ヲ用ヒ得	
膠劑 18. 酸化亞鉛	15.0
白阿膠	15.0
グリセリン	25.0
水	45.0
混和小兒ノ顔面濕疹 糜爛等ニ撒布 綿帶ノ 不能ナルモノニ用フ 用ニ臨ミ加温塗布	
19. 酸化亞鉛	10.0
白阿膠	30.0
グリセリン	30.0
水	30.0
適用 18 ノ如シ	
20. 酸化亞鉛	10.0
白阿膠	20.0
グリセリン	30.0
水	40.0
適用 18 ノ如シ	

振盪合劑	21. 鹽化亞鉛	15.0
	醋酸礬土液	3.0
	澱粉	15.0
	次没食子酸蒼鉛	15.0
	グリセリン	10.0
	水	100.0
	振盪シ 滲出性體質ノ濕疹 糜爛ニ塗布シ 綿 花ヲ當テ縛帶ス	

クロール亞鉛

Zincum chloratum.

白色ノ結晶性粉末 又ハ小挺子ニシテ 大氣中ニテ潮
解ス 水及酒精ニ容易ニ溶解シテ 強キ收斂及殺菌
作用ヲ呈ス 組織ニ觸レテ 深達性腐蝕作用ヲ營ミ
角膜ニテハ 溷濁 水泡形成 潰瘍 虹彩炎ヲ來ス 主
トシテ 涙嚢壁ノ破壊ニ用フ

撒布劑 1. クロール亞鉛	1.0
澱粉	3.0
涙嚢直上ノ皮膚ヨリ 涙嚢ヲ切開シテ 撒布	
塗布劑 2. クロール亞鉛	50.0
酸化亞鉛	5.0
澱粉	50.0
水	適宜
混和シ 1 ノ如ク適用	
3. クロール亞鉛	10.0
グリセリン	適宜
澱粉	10.0
パスタトナシ 1 ノ如ク適用	

スルフォ石炭酸亞鉛

Zincum sulfocarbonicum.

無色透明ノ結晶ニシテ 殆ド臭氣ナク 風化シ易シ
2.5%ノ水ニ溶解シ(40%) 弱酸性ノ反應ヲ呈ス
亞鉛ノ收斂性ト 石炭酸ノ消毒性トヲ併有スルモ 0.2-0.5%ノ溶液ニテハ 同ジ濃度ノ硫酸亞鉛水ト消毒力ニ差ナシ(石井・石津)

點眼水 硫酸亞鉛水ト同ジ濃度ニテ コレト同ジ病症ニ適用ス

洗滌藥 スルフォ石炭酸亞鉛 1.0
蒸餾水 100.0
涙囊洗滌用(ジレッキス氏)

硫酸亞鉛(皓礬)

Zincum sulfuricum.

無色ノ結晶ニシテ 0.6分ノ水ニ溶解シ(166.7%) 酸性ノ反應ヲ呈ス 局所作用ハ 概ネ 硫酸銅ニ類似シ 濃度高キ時ハ 表在性腐蝕ヲ 稀薄液ニテハ 收斂作用ヲ呈シテ 分泌ヲ抑制スルモ 硫酸銅ヨリモ 緩和ナリ 亞急性及慢性結膜炎ニ用キ 特ニ 重桿菌性結膜炎ニ 特效アリ 角膜潰瘍ニ用ウレバ 亞鉛濁濁 (Zinktrübung) ヲ生ズル畏アルガ故ニ 禁忌スベシ 溶液ノ數週經過セルモノニハ 往々酸化亞鉛ノ白濁ヲ生ズルコトアリ

處方及其適用

- 點眼水
1. 硫酸亞鉛 0.3
クロールナトリウム 0.1
蒸餾水 10.0
急性結膜炎ノ輕快期 慢性結膜炎ニ 1日 1-2回 點眼後水洗スベシ
 2. 硫酸亞鉛 0.05
硼酸 0.2
蒸餾水 10.0
重桿菌性結膜炎ニ 1日數回 患者自宅用 治癒後モ數週間持續セザレバ再發シ易シ
 3. 硫酸亞鉛 0.02-0.03
茴香水 2.0
硼酸 0.2
蒸餾水 8.0
慢性結膜炎ニ 1日 2-3回 患者自宅用
 4. 硫酸亞鉛 0.01-0.02
硼酸 0.2
薔薇水 2.0
蒸餾水 8.0
乾性結膜炎 春季加答兒ニ 1日數回 患者自宅用
 5. 硫酸亞鉛 0.02-0.05
グリセリン 5.0
蒸餾水 5.0
慢性結膜炎ニ 1日 2-3回 患者自宅用
 6. 硼砂 0.5 } 第一液
硫酸亞鉛 0.25 }
蒸餾水 200.0 }
精製樟腦 0.4 } 第二液
70%酒精 20.0 }

第一液及第二液ヲ混和シ コレニ サフラン
0.1ヲ加ヘ 24時間温浸シ時々之ヲ振盪シ後
濾過ス 倍量ノ水ヲ加ヘテ點眼水トシ $1/10$
稀釋液ニテ電法料トス(ホルスト氏)

7. 硼砂	0.07
硫酸亞鉛	0.05-0.15
精製樟腦	0.01
サフラン	0.01
蒸餾水	15.0

製法用途6ノ如シ

膏劑 8. 硫酸亞鉛 0.05-0.1
米國製白色ワセリン 10.0
重桿菌性結膜炎及同菌性角膜炎 = 1日 2-3
回點入 就床時行ヘバ殊ニ有効ナリ

9. 硫酸亞鉛 0.02
イヒチオール 1.0
米國製白色ワセリン 10.0
慢性結膜炎殊ニ重桿菌性結膜炎 = 1日 2-3
回(ザットレル氏)

眼浴料 10. 硫酸亞鉛 0.01-0.05-0.1
硼酸 2.0
蒸餾水 100.0
1日數回 重桿菌性結膜炎 及同菌性 角膜潰
瘍 = 適用

洗滌及
電法料 11. 硫酸亞鉛 0.1-0.2
硼酸 2.0
水 100.0
1日數回 重桿菌性結膜炎 = 適用

12. 硫酸亞鉛 0.1-0.2

硼酸	2.0
水	100.0
淚囊洗滌	

塗布藥 13. 硫酸亞鉛 2.0
蒸餾水 10.0
匍行性角膜潰瘍ノ初期 加答兒性角膜潰瘍
ニ消息子又ハ硝子棒端ニ綿ヲ捲キテ本劑ヲ
濕ホシ 5-10秒間潰瘍面ヲ輕壓ス 豫メコ
カインヲ點眼スベシ(エペロン氏)

醋酸鉛(鉛糖)

plumbum aceticum.

無色透映ノ結晶 又ハ白色結晶性ノ塊ニシテ 3分子
ノ結晶水ヲ含ミ 2.3分ノ水(43.5%) 29分ノ酒精
(3.4%)ニ溶解シ 味微ニ甘ク 收斂性ヲ有ス 角膜ノ
上皮缺損セルモノニハ 容易ニ鉛濁濁 Bleitribung
ヲ生ズル悞アルガ故ニ用ウベカラズ 本劑ハ民間藥
トシテ用キラレ 往々著明ノ角膜沈鉛症ニ遭遇ス

處方及其適用

膏劑 1. 醋酸鉛 0.2
米國製白色ワセリン 10.0
濾胞性結膜炎ニ點入シ按摩(フックス氏)

2. 醋酸鉛 0.1-0.2
酸化亞鉛 1.0
米國製白色ワセリン 10.0
眼瞼濕疹 潰瘍性眼瞼緣炎ニ塗布

電法料 3. 醋酸鉛 0.3-0.5
明礬 0.1

	水	100.0
	結膜炎ニシテ癢痒 灼痛 分泌 アルモノ 眼 眼瞼濕疹 結膜下溢血ニ1日數回	
塗布藥	4. 醋酸鉛	0.1-0.2
	蒸餾水	10.0
	濾胞性結膜炎ニ塗布シ 水洗	
點眼水	5. 醋酸鉛	0.03-0.05
	蒸餾水	10.0
	(1) 3ノ適應症ニ1日數回 患者自宅用(2) 硫酸亞鉛適應症ニ1日3回 患者自宅用	

次醋酸鉛液(鉛醋)

Liquor plumbi subacetici.

主トシテ半鹽基性醋酸鹽ヲ含有スル透明ノ液ニシテ
アルカリ性反應ヲ呈ス 大氣中ニテ炭酸ヲ吸收シテ
潤濁ス 角膜上皮缺損部ニ沈鉛症ヲ起スコト 醋酸鉛
ニ於ケルガ如シ

處方及其適用

膏料	1. 次醋酸鉛液	1.0-2.0
	米國製白色ワセリン	10.0
	無水ラノリン	10.0
	眼瞼濕疹ニ塗布 角膜ニ注意スベシ	
電法劑	次醋酸鉛液	2.0
	水	100.0
	眼瞼濕疹 糜爛 結膜炎ノ癢痒感 アルモノ 水胞性結膜炎ニ1日數回 (ジレッキス氏) 角膜ニ注意スベシ	
	3. 次醋酸鉛液	0.5-1.0
	水	100.0

眼瞼緣炎 眼瞼濕疹及急性結膜炎ニテ分泌
著明ナルモノニ1日數回 角膜ニ注意スベ
シ

稀次醋酸鉛液(ゴーラルド水)

Liquor Plumbi subacetici dilutus.

(Aqua Goulardi.)

次醋酸鉛液 2.0 水 98.0 ヨリ成リ乾燥 分泌制止 消
炎ノ目的ニ創傷ノ濕布 眼瞼濕疹 急性結膜炎等ニ其
ノマヽ又ハ數倍ニ稀釋シ用フ 角膜ニ組織缺損アラ
バ 沈鉛症ヲ生ズルガ故ニ禁忌ス

炭酸鉛

Plumbum carbonicum.

白色ノ重キ粉末ニシテ水ニ溶解セズ 乾燥 收斂ノ効
アリ 炭酸鉛 0.25 米國製ワセリン 10.0ヲ眼瞼膏劑
トシテ鱗屑性眼瞼緣炎ニ適用

ヘブラ軟膏

Unguentum Hebrae.

單鉛硬膏(酸化鉛細末 5.0 落花生油 5.0 豚脂 5.0 蒸
餾水 10.0ノ混和) 落花生油等分ヲ取り重盪煎上ニ
テ熔和シ冷却スルニ至ルマデ攪拌シテ製スベシ 類
灰白色又ハ類黃色ヲ呈ス

處方及其適用 頭部及顔面濕疹 眼瞼緣炎 眼瞼濕
疹ニ痂皮ヲ去リタル後塗布 豫メ3-10%硝酸銀水ヲ
濕疹面ニ塗布スレバ更ニ可ナリ

明 礬

Alumen.

無色透映堅硬ナル 八面結晶 又ハ結晶性粉末ニシテ
12 分子ノ結晶水ヲ含ミ 空氣中ニテ 多少風化シ 11 分ノ
水ニ溶解シ (約 9%) 酸性反應ヲ呈ス 濃度高キモノハ
腐蝕作用ヲ呈シテ 蛋白礬土ヲ作り 稀薄液ニテハ收斂作
用ヲ營ミテ分泌制止 止血ノ効ヲ奏ス 然レ共 礬土鹽類
ハ其鹽基性微弱ニシテ反テ著シキ酸性ヲ有スルヲ以テ
本劑モ過度ニ使用スル時ハ酸ノ爲ニ 却テ發炎シ 收斂ノ
効ヲ爲サザルガ故ニ 濫用スベカラズ

處方及其適用

- 點眼水** 1. 明礬 0.05-0.1
クロールナトリウム 0.13
蒸留水 10.0
慢性結膜炎 トラホームノ恢復期ニ 1日 3
回患者自宅用
- 塗布藥** 2. 明礬桿
明礬ノ大ナル結晶ヲ削リテ桿劑トセルモノ
ニシテ トラホーム 恢復期 慢性結膜炎 濾
胞性結膜炎ニ 1日 1回結膜面ヲ塗布シ水洗
- 電法料** 3. 明礬 0.25
クロールナトリウム 1.0
水 100.0
慢性結膜炎ニシテ 分泌ナキモノ トラホー
ムノ恢復期ニ 1日數回適用

- 含嗽料** 4. 明礬 6.0
クロール酸カリウム 10.0
水 300.0
咽喉炎ニ 1日數回

[附記] 1. 明礬 0.2-0.5 ヲ 1000 cc ノ水ニ加フレバ 8-
20 分ニシテ 之ヲ清淨ナラシムルガ故ニ 不潔飲料ヲ
清澄スルニ用キラル

2. 枯礬 Alumen ustum ハ明礬ヲ加熱脱水セシメタル白
色ノ粉末ニシテ 作用明礬ニ同ジキモ 水分ヲ取ル性
質強ク局所作用 明礬ニ優ル

醋酸アルミニウム液(ブロー液)

Liquor Almini acetici. (Liq. Buronii.)

硫酸アルミニウム 100.0 水 270.0 ヲ加温セズシテ溶
解シ 濾過シ水ヲ加ヘテ比重 1.152 トナシ 之ニ沈降
炭酸カルシウム 46.0 水 60.0 ノ研和物ヲ攪拌シツ、
注加シ 更ニ稀醋酸 120.0 ヲ徐々ニ注ギ 其混液ヲ時
々攪拌放置シ 瓦斯ノ發生熄ムニ至リ濾過シ 濾液ニ
水ヲ加ヘテ稀釋シ 比重 1.044-1.048 トセルモノナ
リ 本品中ニハ 7.3-8.3 %ノ 醋酸アルミニウムヲ
含有シ 無色澄明酸性ノ液ニシテ 醋酸ノ臭氣ヲ有シ
收斂性ノ甘味アリ

- 電法料** 1. 醋酸アルミニウム液 0.25
クロールナトリウム 1.0
水 100.0
慢性結膜炎ニ 1日數回適用
2. 醋酸アルミニウム液 1.0-2.0
硼酸 2.0
水 100.0
眼瞼濕爛 眼瞼緣炎ニ 1日數回

〔附記〕 眼部以外ノ皮膚及皮下組織ノ化膿 創傷等ニハ原液ヲ 5-20 倍ニ水ニテ稀釋シ適用ス

アルゾール

Alsol. (Aluminium acético-tartaricum.)

無色ノ結晶ニシテ徐々ニ水ニ溶ク 0.1-1.0 %液トシテブロー液ノ如ク適用ス

レニセツト

Lenicet.

諸種ノ醋酸アルミニウム化合物ノ混合ニシテ白色ノ粉末 水ニテ攪拌スレバ乳狀ノ液トナル

處方及其適用 主トシテ軟膏トシ 10-20 %ヲ眼瞼潰瘍ニ 20-50 %ヲ濕疹ニ塗布シ 又タノヴォカイン 0.5 アドレナリン 1.0 レニセツト 0.3 米國製ワセリン 10.0 ヲ春季加答兒ニ點入ス

ブレノ・レニセツト膏 Bleno-Lenicet Salbe レニセツト及ビオイワゼリン(ワゼリン・ラノリン・ツェレジノ混合物)トヨリ成ル軟膏ニシテ膿漏眼ノ治療ニ用ウ 即チ初メ 10 %ブレノレニセツト膏ヲ 2 時間毎ニ晝夜結膜囊ニ點入シ 數日ニシテ分泌減退セバ 5 %軟膏ヲ 3-4 時間毎ニ點入シ 分泌全ク消退スルマデ持續ス 猶其他ノ治療法ヲモ併用シ 單ニ本劑ノミニ信賴スベカラズ

オクサーン

Oxan. „Bayer.”

固形醋酸礬土ノ白色粉末ニシテ 其適用醋酸礬土ニ同ジク 2-5 %ヲ外皮ノ瘡法ニ 0.5-2 %ヲ眼部瘡法ニ 2-5 %ヲ火傷 創傷ニ適用ス

アルミゾール

Alumisol. (日新醫學)

50 %醋酸酒石酸アルミニウム 即チアルゾールヲ含有スル水溶性ニシテ 醋酸礬土水適應症ニ收斂 防腐ノ目的ヲ以テ 0.2-0.5 %液トシテ濕布 瘡法料トス

アルムノール

Alumnol. „Hoechst.”

ベタ・ナフトール・ヂスルファ・ン酸アルミニウムノ白色粉末 水ニ溶ケ易シ 緩和ナル收斂劑ナリ

撒布藥	1. アルムノール	10.0-20.0
	滑石	45.0
	澱粉	45.0
	濕疹 皮脂漏ニ適用	
膏劑	2. アルムノール	0.5-1.0
	米國製ワセリン	5.0
	含水ラノリン	5.0
	濕疹 糜爛 火傷等ニ適用	
	3. アルムノール	0.5-1.0
	酸化亞鉛	1.0
	米國製ワセリン	10.0
	適用 2ニ同ジ	
電法料	4. アルムノール	3-5.0
	水	100.0
	眼瞼濕疹 糜爛 麥粒腫 初生兒膿漏眼 急性結膜炎ニテ分泌過多ノ場合ニ適用	

苛性カリ(水酸化カリウム)

Kali causticum. (Kalium hydroxyd.)

白色乾燥ノ塊片又ハ小挺子ニシテ 氣中ニテ潮解シ
水ニ容易ニ溶解ス 蛋白質ヲ溶解シテ糊狀ニ變ジ
脂肪ヲ鹼化ス 故ニ組織ニ對スル作用ハ 常ニ深達
性ニシテ 腐蝕力極メテ強ク 粘膜ニ於テ殊ニ然リト
ス 治癒後強度ノ癬痕收縮ヲ營ムヲ常トス

處方及其適用 眼科的ニハ 小ナル皮膚母斑 小疣
ノ腐蝕ニ用ウ

1. 苛性カリ 1.0

煨製石灰 1.0

酒精 數滴

稠粥狀トナシ布片ニ塗布シ 母斑ニハ 5-10
分 小疣ニハ 10-30 分間作用セシム 場合
ニヨリ反復貼用ス (維也爾蝕 pasta
caustica Viennensis.)

2. 苛性カリ 1.0-2.0

蒸餾水 10.0

以上ニ澱粉ヲ加ヘテ攪拌シ稠粥狀トナシ硝
子棒ニテ母斑面ニ塗布シ放置 1日 1回宛
持續 癬痕ナク母斑脱落スベシ

カリ石鹼

Sapo Kalinus.

帶黃褐色透明ノ軟塊ニシテ 腺病質 結核性患者ノ皮
膚ニ擦入シテ 一般榮養狀態ヲ佳良ニシ 食慾ヲ亢進
シ 腺腫ヲ縮小セシム

處方及其適用 第一法 カリ石鹼 5.0-10.0ヲ取り
水銀軟膏塗擦ノ如ク行ヒ 第7日休藥シ入浴 4-5週
ヲ持續シ 半月乃至1月休療シ再ビ反復

第二法 上膊 側胸 大腿等ニ第一法ノ如ク擦入シ隔
日ニ入浴休藥シ持續ス

第三法 前記ノ如ク擦入シ 半時間ノ後 温湯ニテ洗
滌 1週 2-3回 反復持續

第四法 小兒ニテ擦入ヲ行ヒ 難キモノニハ 上膊 大
腿ニ廣ク本劑ヲ塗布シ フラネルニテ輕ク捲キ 2-6
時間後温湯ニテ洗フベシ

以上何レノ場合ニモ 皮膚發赤腫脹起ラバ 數日間休
藥シ其ノ消退ヲ待チ再行スベシ

ミカモール

Mikamol. (東亞製劑)

カリ石鹼ヲ主劑トセルモノニシテ 1回量 30.0ヲロ
イマチス 神經痛 偏頭痛 淋巴腺腫ニ塗布

炭酸ナトリウム

Natrium Carbonicum.

無色透明ノ結晶ニシテ 10分子ノ結晶水ヲ含ミ 100
分中 37分以上ノ純炭酸ナトリウムヲ含ミ 大氣中ニ
テ風化シテ 重量ノ半ヲ失ヒ 崩解シテ 白色ノ粉末ト
ナリ 100分中 74分以上ノ純炭酸ナトリウムヲ含メ
ル乾燥炭酸ナトリウム Nat. carbon. siccum ニ變ズ
1.6分ノ水ニ溶解シテ (62.5%) アルカリ性反應ヲ呈
シ 脂肪ヲ鹼化シ酸ヲ中和シ 蛋白質ヲ溶解ス 無水
炭酸ナトリウム Carbon. anhydricum ハ炭酸ナトリ
ウムヲ熱シテ 結晶水ヲ脱却セルモノニシテ 空氣中
ニテ水分ヲ吸收シ 再ビ炭酸ナトリウムノ結晶トナ
ル 粗製炭酸ナトリウム Nat. carbon. crudum ハ100
分中 34分以上ノ純炭酸ナトリウムノ外 2-3%硫酸
ナトリウム及クロールナトリウムヲ含有シ其他 チ
アン化合物 硫化物 酸化鐵 酸化鉛等ノ痕跡ヲ夾雜

シ被服 繃帶材料ノ再製ニ用キ 又タ皮膚病ノ洗滌及浴料トス

處方及其適用 (1)潰瘍性眼瞼緣炎 眼瞼濕疹ニシテ炎症強キモノニ木タール 5.0 炭酸ナトリウム 0.5 無水アルコール 4 滴 米國製ワセリン 5.0 ヲ研和シテ塗布シ (2)手術器械ノ消毒ニ1%液トシテ煮沸スレバ汚物ヲ溶解シ且ツ防錆ス (3)酸ニヨル眼外傷ニ0.1-0.5%液トシテ洗眼

石灰水

Aqua Calcaria.

石灰ノ飽和液 1 リーテル中約 1.3 ノ煨製石灰ヲ含有スル澄明 強アルカリ性液ナリ 大氣ニ觸ルレバ炭酸ヲ取リテ溼潤ス 創傷 潰瘍面ニ塗布スレバ一部炭酸鹽トナリ一部細胞 脂肪ヲ鹼化ス

處方及其適用 ギフテリーノ義膜面ヲ軟化剝脱セシムル 目的ニ蒸氣噴霧セシム 但角膜ニ潰瘍アルモノニ禁忌ス

乳酸

Acidum lactium.

無色澄明 又ハ微ニ類黃色ヲ帶ブル 舍利別稠ノ液ニシテ殆ド臭氣ナク 任意ノ比ニ水ニ混和ス 100 分中 75 分ノ純乳酸ヲ含ミ 蛋白質 角膜ヲ溶解スルモ健全ナル組織ハ之ニ抵抗強ク 病的組織ノミヲ破壊スル効アリ

處方及其適用 主トシテ塗布藥トシテ用キラル 20-30-50-100%液ヲ結膜結核ニ塗布ス 初メ 20%

ヲ用キ漸次濃度ヲ高メテ原液ニ至ル 角膜ニ觸ルハヲ避ケ 塗布後直ニ水洗ス(塗布藥參照) 疼痛強キガ故ニ豫メ 2%ノヴォカインヲ注射スベシ 角膜ヘルペスノ頑固ナルモノニ消息子端ニ濕ホシテ塗布水洗シ効アルコトアリ(ジレッキス氏)

醋酸

Acidum aceticum.

無色澄明揮發性ノ液ニシテ 36%ノ純醋酸ヲ含ム
稀醋酸 Acidum aceticum dilutum ハ醋酸 1.0 蒸溜水 4.0 ノ比ニ混シタルモノニシテ 6%ノ純醋酸ヲ含ミ
氷醋酸 Acidum aceticum glaciale ハ96%以上ノ純醋酸ヲ有シ 無色澄明揮發性ノ液ナレドモ寒冷ニ逢ヘバ凝結シテ 結晶性塊トナル

處方及其適用

點眼水	1. 醋酸	1-2 滴
	蒸溜水	10.0
春季加答兒ノ炎症期ニ分泌物ノアルカリ性ヲ中和スル目的ニ 1 日數回 患者自家用		
洗滌料	2. 稀醋酸	10 滴
	硼酸	3.0
	蒸溜水	10.0
	適用 1 ノ如シ	
洗滌料	3. 醋酸	2.0-5.0
	硼酸	2.0
	水	100.0
アルカリニ因ル 眼外傷ニ 洗眼 眼浴及電法料トシテ 1 日數回		

枸橼酸

Acidum citricum.

無色透明ノ結晶ニシテ 0.6 分ノ水ニ溶解ス(166.7%)
 デフテリーノ義膜ニ 3%水溶液又ハグリセリン溶液
 トシテ 1 日數回塗布(フュザール フォッシュウス氏)

マグネシン

Magnesin. (日本新藥)

マグネシウム粉末ヲ グリセリンニテ混和セル 注射
 液ナリ

處方及其適用 痔核ニ行フモ亦眼瞼靜脈瘤 血管
 腫ニ注射器ニテ腫瘍ノ中央ニ 1-3 滴ヲ注射シ輕ク繃
 帶ヲ施セバ 自然ニ脱落ス

次硝酸蒼鉛

Bismutum subnitricum.

白色細微結晶性ノ重キ粉末 水ニ微ニ溶解ス 乾燥
 性收斂藥 トシテ 糜爛性皮膚病ニ專ラ軟膏トシテ適
 用ス

處方及其適用

膏劑	1. 次硝酸蒼鉛	1.0
	米國製ワセリン	10.0
	眼瞼濕爛ニ 1 日數回塗布	
2. 次硝酸蒼鉛	酸化亞鉛	1.0
	含水ヲノリン	10.0
	米國製ワセリン	10.0

適用 1 ノ如シ

ジェキリトール

Jequiritol. „Merek.“

ジェキリチー豆ニ存スル アルカロイド アブリン
 Abrin ノ誘導體ニシテ レーメル氏ノ創意ニ成ル
 ジェキリチー豆ハ ブラジルニテ トラホームノ民間
 藥ニ用キラレ エッケル氏ハ豆ヲ挫碎シ 24 時間冷水
 ニテ 3-5% 浸液ヲ作り トラホームノ結膜ニ 1 日
 1-3 回塗布セリ 2-3 日ニシテ眼瞼浮腫 結膜充血 角
 膜潤濁シ 烈シク發炎シ 塗布セル結膜面ニ義膜ヲ生
 ズ(ジェキリチー眼炎) 硼酸水濯法 硼酸ワセリン結
 膜囊塗布ヲ行ヒテ消炎ヲ待ツベシ ジェキリトール
 ハ Nr. I. ヨリ點眼シ漸次濃度ヲ高メテ Nr. IV. ニ至
 ル 點眼後ノ發炎状態ハ ジェキリチー 浸液ト大差
 ナク 約 7 日ニシテ消炎シ 角膜潤濁 パンヌス 等
 時ニ消退ス 發炎甚シキ時ハ ジェキリトール血清
 ヲ用ウベシ

適應症 トラホーム パンヌス 芒把狀角膜炎 角
 膜翳 頑固ナル角膜フリクテン等

ジェキリトール血清 Jequiritolserum ハ ジェキリト
 ールノ免疫血清ニシテ ジェキリトールノ作用劇烈
 ナル場合ニ 1 日數回點眼 又ハ皮下注射シテ 消炎ヲ
 圖ル 0.25% フェノールヲ混ジ貯フ

[附記] 殺菌(防腐)藥ハ同時ニ多クハ腐蝕及收斂作用
 アリ 参照スベシ

X. 上皮成形藥

シヤルラッハロート

Biebricher Scharlach-Rot Medicinale. „Kalle.“

アミド・アツオ・トルオール・アツオ・ベタナフトール
ナル 赤黄色乃至暗赤褐色ノ 粉末 表皮成形促進劑ト
シテ表皮缺損 火傷 褥瘡 皮膚癩爛 潰瘍 狼瘡 角膜
潰瘍等ニ用ケラル

膏劑 1. シヤルラハロート 0.5-1.0
オレーフ油 10.0
米國製白色ワセリン 10.0

(1) 眼球ノ外傷及手術 眼瞼 結膜 角膜ノ潰瘍等ニ 1日 1-3回塗布シ輕ク繃帶シ 1日乃至2日間放置シ 然ル後 3% 硼酸ワセリンニ代ユルコト 1-3日間 上皮成形ノ狀況ニ應ジテ更ニ 又前法ヲ 反復ス (2) 角膜瘻孔形成ニ 1-3日間結膜囊ニ 點入放置シ 然ル後無刺戟性膏劑ニ代ユルコト 1-3日間 更ニ前法反復

2. シヤルラハロート 8.0
米國製ワセリン 100.0
リント 綿紗ニ塗布シ 眼瞼ノ外傷 潰瘍ニ 1-2日間貼用放置シ 無刺戟性膏劑ニ代ヘ 上皮成形ノ狀況ヲ檢シ 更ニ前法反復

レゲロート軟膏

Regerot-Salbe. (萬有)

シヤルラッハロート軟膏ノ改良品 5%レゲロートヲ含有ス

處方及其適用 上皮成形促進劑トシテ 眼瞼濕疹 潰瘍 火傷 涙囊瘻ニ 3-5%軟膏ヲ貼用シテ一晝夜放置シ 後 1-2日間 無刺戟性膏劑(3%硼酸ワセリン)ヲ貼用シ 再ビ本軟膏ヲ前ノ如ク使用ス 角膜潰瘍 角膜瘻ニハ 1-3%ノモノヲ 以上ノ如ク用ウベシ

アミドアツオトルオール

Amidoazotoluol medicinale. „Kalle.“

シヤールラハロートノ如ク 赤褐色粉末ニシテ 水ニ不溶 アルコホル エーテルニ溶解ス 上皮成形促進劑トシテ 1-5%軟膏又ハ撒布藥トシテ 適用スルコト シヤルラッハロートニ同ジ

ペリドール

pellidol. „Kalle.“

アミドアツトルオールノ ジアセチール 誘導體ナル 淡赤黄色ノ粉末ニシテ シヤルラハロートノ如ク 上皮促進劑トシテ一般創傷 濕疹 潰瘍 火傷ニ用ウ

處方及其適用

洗滌料 1. ペリドール 0.25
水 100.0
白内障手術ニ際シ結膜囊ノ洗滌ニ用ウ (ア
クセンフェルド氏)
膏劑 2. ペリドール 0.1-0.2
米國製ワセリン 10.0

適應症及用法 シヤルラッハロートニ於ケルガ如シ

3. ペリドール	2.0
プロタルゴール	8.0
キセロフォルム	10.0
米國製ワセリン	100.0

眼瞼ノ創傷ニ適用

4. ペリドール	2.0
亞鉛華軟膏	100.0

眼瞼ノ創面 潰瘍等ニ適用

5. ペリドール	2.0
オレーフ油	100.0

眼瞼火傷ニ適用

撒布劑	ペリドール	5.0
	白陶土末(又ハ滑石末)	100.0

濕疹ニ適用

アツォドレーン

Azodolen. „Kalle.“

ペリドールトヨードトノ同量ヲ結合セシメタルモノニシテ 上皮成形促進劑ナリ
2%ワセリン又ハ2%オレーフ油劑トシテ ペリドールノ如ク火傷 褥瘡 皮膚壞疽 潰瘍ニ適用

ピオクタニン

Pyoktanin. (Methylviolett.)

アニリン色素ニシテ ピオクタニン青 Pyoktaninum caeruleum ト ピオクタニン黄 P. aureum トアリ 前者

ハ藍青色ノ結晶性粉末ニシテ 水 酒精ニ溶解シ 後者ハ黄色難溶性ナリ 共ニ無害ナル防腐藥ニシテ 癢痒 疼痛ヲ抑制シ 上皮新生ヲ促進ス 主トシテ ピオクタニン膏ヲ用ウ

處方及其適用 1-3% 溶液トシテ 角膜潰瘍 フリクテンニ硝子棒端ニ濕ホシテ塗布シ 餘剰ノピオクタニンヲ洗滌ス 既ニ上皮ヲ成形セルモノニテハ 染色セザルガ故ニ同時ニ フルオレスチン液ノ代用ヲ兼ヌ 芒把狀角膜炎ニハ血管ヲ搔爬シタル後塗布水洗スベシ 眼瞼緣炎 濕疹ニハ 痂皮及病的睫毛ヲ除去シ塗布シ洗滌セズ 2-5%膏劑(ピオクタニン 2-5.0 米國製ワセリン 100.0)ハ眼瞼緣炎 濕疹 表在性角膜潰瘍ニ用ケラル

XI. 變質藥

ヨードカリウム

Kalium jodatum.

白色乾固骰子形ノ結晶ニシテ 0.75分ノ水ニ溶解シ(約 133.3%) 80%ノヨードヲ含ム 内服スルトキハヨード

ノ一部ヲ游離シ 病的組織成分ト結合シテ之ヲ破壊吸收シ 又諸種ノ慢性中毒殊ニ水銀 鉛中毒ニ用キテ組織ノ新陳代謝ヲ亢進シ 毒物ノ排泄ヲ速ナラシム 局所ニ用ウル時ハ組織ノ分泌物ニ遺ヒテ一部ヨードヲ游離シ 制臭 制泌 制腐作用ヲ呈シ 且ツ肉芽面ヲ刺戟シテ治癒ヲ促進セシム

中毒症狀 最も屢々見ル所ノモノハ皮疹 アクネ 鼻加管兒ニシテ 其他結膜炎 咽頭炎 胃障礙 嘔吐 下痢 咳嗽 心悸亢進 瘦削 發熱 甚シキ時ハ聲門水腫 惡液質ヲ來ス 特異質アルモノニハ少量ヅ、持續シ 漸次増量スルカ若クハ有機性ヨード劑ヲ與フベシ 又タ胃症狀ヲ起シ 易キモノニハ重炭酸ナトリウムヲ伍用スベシ コレ胃酸ニヨル ヨード水素酸ノ發生ヲ妨ゲ 粘膜炎ノ刺戟ヲ輕減スルニヨル 黴毒ニ對シテハ原因的ニ奏功スルニアラズシテ 黴毒性炎症ニ由ル組織ノ増殖ヲ破壊 吸收スルニアリ 從テ第一期黴毒ニハ全ク効ナク 第二期黴毒ニハ多少奏功シ 第三期黴毒ノ誤腫 潰瘍ニ卓越セル効果ヲ認メ 遙カニ水銀劑ニ優ル 水銀劑ト併用スル時ハ水銀ノ排泄ヲ速ニシ 其治効ヲ減ズルモ 亦水銀ニ因ル中毒ヲ免レ得ベシ 結膜ニ甘汞ヲ用キタルモノニ本劑ヲ内服セシムレバ 劇シキ眼炎ヲ生ジ 又タ甘汞ヲ内服セシムルモ 同様

ノ變化ヲ腸壁ニ生ジ出血 下痢ヲ來ス

- 内服藥**
- | | |
|------------|---------|
| 1. ヨードカリウム | 0.5-3.0 |
| 重炭酸ナトリウム | 3.0 |
| 苦味丁幾 | 3.0 |
| 水 | 100.0 |
- 1 日 3 回 毎食後分服 小兒ニハ年齢ニ應ジテ用量ヲ加減シ 1 歳ニハ 0.1 トシ 以上年齢 1 歳ヲ加フル毎ニ 0.1 宛増量スベシ 角膜實質炎 葡萄膜 網膜 視神經 硝子體 腦下垂體腫瘍等ニ初メ少量ヲ(0.5-1.0)漸次増量シテ 2.0 乃至ソレ以上ニ及ブ 但シ第三期黴毒ニテ奏功急ヲ望ム場合ニハ速ニ増量シテ 1 日量 5-10-15 ニ達シ得 動脈硬化症ニハ少量ヲ持續スベシ
- 2.**
- | | |
|---------|------|
| ヨードカリウム | 1.0 |
| 次亞硫酸ソーダ | 0.25 |
| 炭酸カリウム | 4.0 |
| トラガントゴム | 2.5 |
| 甘草根末 | 適宜 |
- 爲 100 丸 1 丸ノ含量 0.1 適用 1 ノ如シ
- 膏劑**
- | | |
|------------|---------|
| 3. ヨードカリウム | 0.3-0.6 |
| 重炭酸ナトリウム | 2.0 |
| 米國製ワセリン | 30.0 |
- 研和 1 日 1 回 角膜翳ニ按摩
- 4.**
- | | |
|---------|------|
| ヨードカリウム | 10.0 |
| 含水ラノリン | 50.0 |
| 米國製ワセリン | 50.0 |
- 結核性眼瞼潰瘍 腺腫ニヨード劑ノ内服ト共ニ貼用
- 塗布藥**
- | | |
|------------|------|
| 5. ヨードカリウム | 20.0 |
|------------|------|

蒸餾水 100.0
 眼瞼其他皮下組織ノ化膿性潰瘍 膿瘍 蜂窩
 織炎ニ塗布或ハガーゼニ濕ホシテタンポン
 1日1-2回 制臭 制腐 肉芽新生ノ効アリ

ヨードナトリウム

Natrium jodatum.

白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ 味苦鹹ナリ 0.6
 分ノ水ニ溶解ス(約 166.7%) 効力ヨードカリウムヨリ
 モ弱シ

處方及其適用 ヨードカリウムニ同ジ

ヨード鐵舍利別

Sirpus Ferri jodati.

無色微綠色又ハ微黃色澄明ノ舍利別ニシテ5%ノ
 ヨード亞酸化鐵ヲ含ム 分解ヲ防グタメ 鐵線ヲ投
 ジ貯フ 腺病性疾患及貧血ニ汎ク用キラレタルモ
 今日ハ他ノ有機化合物製劑ヲ代用ス 専ラ内服藥ト
 シ 1歳以下ニ 0.1-0.2 1-2歳 0.3-0.5 2-5歳 0.5-1.0
 5-10歳 1.0-1.5 10-15歳 1.5-2.0 15歳以上 2.0-5.0
 ヲ用ウ 稀釋液ハ蒸餾水ヲ使用スベシ

ヨードノ有機化合物

Organische Jodverbindungen.

ヨード化合物中ヨードノ作用ノ最モ顯著ナルハヨ
 ードカリウムニシテヨードナトリウム之ニ次グ ヨード

ノ脂肪及蛋白化合物ハヨード中毒ヲ防ギ 持續連用スル
 ニ適スルモ其効果ハヨードカリウム ヨードナトリウム
 ニ劣ル

1. ヨチオン Jothion. „Bayer.” 黄色油狀ノ液ニシテヨ
 ードノ含量80% ヨードカリウムノ代用トシテ皮膚
 ニ塗擦ス 塗擦後1時間ニテ尿中ヨード反應ヲ證ス
 1日2.0-4.0ヲ同量ノ黄蠟及ラノリンヲ和シ皮膚ノ
 刺戟ヲ避ケツ、擦入
2. ヨデオール Jodeol. „Viel.” 電氣的ヨードコロイド
 ニシテ溶媒劑トシテ樟腦屬ノテレピンヲ用ウ ヨ
 ードカリウムノ代用トシテ塗布 注射 内服ス
3. ヨードスタリン Jodostarin. „Roche.” 白色無臭無
 味ノ結晶性粉末ニシテヨードカリウムノ代用ニ之
 ト同量ヲ内服ス
4. ヨヂピン Jodipin. „Merk.” 胡麻油トヨードトノ
 結合體ニシテ10%ノヨードヲ含ムモノト25%ノ
 ヨードヲ含ムモノトアリ ヨードカリウムニ代用
 シ 内服又ハ皮下及筋肉内ニ注射ス
5. サヨヂン Sajodin. „Bayer.” & „Hoechst.” 白色
 無臭無味ノ粉末ニシテ光線ニヨリテ表面黃變ス
 水ニ不溶 26%ノヨードヲ含ミヨードカリウムニ
 代用シテ1日1.0-6.0ヲ内服ス
 エクイヨヂン Equijodin. (三共)ハ邦製サヨヂンナリ
6. リポヨヂン Lipojodin. „Ciba.” 41.06%ノヨードヲ
 含メル白色無味無臭ノ結晶ニシテヨードカリウム
 ニ代用シテ其適應症ニ 毎食後1錠宛ヲ與フ 1錠
 中リポヨヂンノ含量 0.3ナリ
7. ヨドーン Jodon. „Robin.” 有機性ペプトンヨード
 16.48%ノヨードヲ含ミヨードカリウム代用品ト

シテ 動脈硬化症 黴毒 其他ノ ヨードカリウム 適應症ニ 1 回 20-50 滴宛 1 日 2 回食後服用

ヨードカルシウム液

Solutio Calci jodati.

注射用ヨードカルシウム液ニシテ カルシウムノ作用ト ヨードノ作用トヲ兼ネ 3%以上ハ静脈内ニ 1-2%液ハ皮下注射ス

處方及其適用 腺病性眼疾患 黴毒 甲状腺腫 バセドウ氏病ニ初メ 1%液 2-3 cc ヨリ漸次増量シテ其濃度及注射量ヲ高ム

亞砒酸カリウム液(ホーレル水)

Liquor Kali arsenicosi.

(Liquor arsenicalis Fowleri.)

亞砒酸 1.0 重炭酸カリウム 1.0 蒸留水 2.0 ヲ煮沸溶解シ 酒精 14.0 ラヘンデル精 1.0 及蒸留水ヲ加ヘテ全量 100.0 トセル無色澄明ノ液ニシテ アルカリ性反應ヲ呈ス 極量 1 回 0.5 1 日 1.5

中毒症狀 急性砒素中毒症狀トシテ 意識亡失 嗜眠 昏睡 呼吸麻痺 心臓麻痺(麻痺型) 嘔吐 腹痛 及ビ劇烈ナル下痢 虚脱(胃腸型)アリ 慢性中毒症狀ハ砒素ノ同化促進作用ヨリ更ニ進ミテ破壊作用ヲ呈スル時現ハル、モノニシテ 食思缺乏 嘔吐 腹痛 結膜炎 氣管枝炎 眼瞼

浮腫 鼻咽腔ノ乾燥 聲音啞嘶 皮膚乾燥 毛髮脱落 頭痛 多發性神經炎 内臟諸臟器ノ脂肪變性 衰弱 貧血 心臓麻痺ヲ來ス 解毒法ハ急性中毒ニ對シテハ過硫酸鐵液 100.0 水 2500.0 ノ混液ト 別ニ 煨製マグネシア 15.0 水 250.0 ヲ研和セルモノトヲ混ジ均等ノ糜粥トシ 15-30 分毎ニ 1 茶匙乃至 1 食匙宛服用セシム(砒石解毒劑) 不溶性ノ鹽基性亞砒酸々化鐵ヲ形成シ其吸收ヲ抑制スルモノニシテ用ニ臨ミ調製スベシ

處方及其適用 變質強壯劑トシテ 或ハ皮膚ノ慢性疾患 殊ニ乾癬 紅色苔癬 頑固ナル濕疹 多發性疣ニ持續連用シ 黴毒ニハ水銀 サルヴァルサン療法ノ後ニ適用スルモ視神經萎縮ニハ時トシテ却テ視力減退ヲ促進スルコトアルガ故ニ注意シテ行フベシ

内服藥 1. ホーレル水 5.0
林檎酸鐵丁幾 15.0
1 日 3 回 3 滴宛 漸次 1 回 1 滴宛増量シテ 1 日量 20-30 滴ニ至ラバ 1 回 1 滴宛減量シテ初量ニ復シ再ビ増量反復ス

2. ホーレル水(原)
1 日 1 滴ヨリ始メ 1 日 1 滴宛増量シテ 1 日ノ全量 1.5(!)ニ達シ 漸次滴數ヲ減ジテ 初量ニ復歸シ 更ニ増量反復ス 或ハ 1 日 1 滴ヨリ 1 日 1 滴宛増量シ 1 日全量 15 滴ニ至リテ 1 滴宛減量シ 30 日ニテ初量ニ復歸セシム 年齢ト滴數トノ關係次ノ如シ
1-2 (歳) 初量 1 (滴) 終量 4 (滴)
3-4 1 5

	5-10 (歳)	1 (滴)	7 (滴)
	10-15	1	10
	15 歳以上	1	16
注射料	3. ホーレル水		20.0
	蒸留水		30.0
	煮沸滅菌シ 0.1 cc-0.5 cc-1.0 cc ヲ漸次増量皮下注射 適應症前記ニ同ジ		

亞砒酸丸(アジア丸)

Pilulae Acidi arsenicosi. (Pilulae Asiatica.)

亞砒酸 0.001 ヲ含メル丸子ニシテ亞砒酸カリウム液ノ如ク適用ス 中毒症狀及其所置亞砒酸カリウム液ニ同ジ 極量 1 回 5 粒 1 日 15 粒

處方及其適用 1 日 1 丸ヨリ始メ 1 日 1 丸宛増量シテ 1 回 5 粒 1 日 15 粒(!)ニ達シ 漸次 1 日 1 粒宛減量シテ 初量ニ復歸シ 再ビ増量反復ス 適應症 亞砒酸カリウム液ニ同ジ

ヨード砒素

Arsenicum jodatum.

帶褐橙赤色結晶性ノ塊片又ハ光澤アル鱗屑狀結晶ニシテヨード臭ヲ有シ 3.5 分ノ水ニ溶解シ(28.6%)中性ノ反應ヲ呈ス 黴毒 腺病 慢性皮膚病ニ 0.001-0.01 ヲ 1 日 2-3 回増量的ニ内服

ヨード砒素永液(ドノヴァン液)

Liquor Arseni et Hgdrargyri jodati.

(Solutio Donovanii.)

ヨード砒素 1.0 赤色ヨード永 1.0 蒸留水 100.0 ノ混

液ニシテ微黄澄明ノ液ナリ 黴毒 腺病 慢性皮膚病ニ 1 回 5 滴ヨリ漸次増量 100 滴ニ至リ更ニ漸次減量反復ス

アトキシール

Atoxyl.

無色結晶性ノ粉末ニシテ無臭 微鹹味アリ 6 分ノ水ニ溶解ス(16.7%) 37.69%ノ砒素ヲ含ム 睡眠病ニ特效ニシテ又黴毒 マラリアニ効アリ 時トシテ中毒症狀(眩暈 頭痛 惡寒 嘔吐 腹痛 下痢 發熱 蛋白尿 血尿 嗜眠 視神經萎縮ニ因ル失明)ヲ伴ヒ 藥品變化シテ還元セルモノニ於テ殊ニ然リトス 脊髓癱性視神經萎縮ニハ適用セザルヲ可トス

皮下注射ニハ 10%液ヲ 0.05 ヲヨリ始メ 0.1-0.2(!)ニ至ル 内服ニハ 1 回 1 錠(0.05) 1 日 2 回 12 日間持續シテ 後 1 週間休藥シ 全量 50 錠マデ用キ得ルモ 持長スレバ中毒ノ懼アリ

クロールナトリウム

Natrium chloratum.

方形 無色ノ結晶 3 分ノ水ニ溶解ス(33.3%) 濃度強キモノハ粘膜 病的組織ノ機能障礙ヲ來スモ 輕度ノ刺戟ハ却テ組織ノ機能ヲ亢進シ再生ヲ促ス

處方及其適用 1. 生理クロールナトリウム液(生理食鹽水) Natrii chlorati physiologica. クロールナトリウム 8.5 蒸留水 1000.0 ヲ濾過シ 滅菌セルモノニシテ (1)急性中毒 亡血 心臓衰弱等ニ皮下又ハ筋肉内

- = 500.0-1000.0 ヲ注射シ (2)注射用藥品ノ溶液(3)手術野ノ無刺激性洗滌料 (4)無刺激性電法料トス
2. 手術眼 外傷眼ノ 結膜囊洗滌ニハ 0.6% 滅菌食鹽水ヲ用ウベシ(フックス氏)
3. 低張性點眼水ニハ 1.2-1.3%ノ比ニ 食鹽ヲ 伍用スレバ 刺激ヲ減ズ(中村文平氏 點眼参照)
4. 高張性食鹽水(2-10%)ヲ 結膜下ニ注射シテ 眼組織ノ 新陳代謝ヲ 促進ス(結膜下注射参照)
5. 眼壓亢進著シキモノニ 10% 滅菌クロールナトリウム液ヲ 20cc 靜脈内ニ注射シ 食鹽多キ食餌ヲ與フレバ 眼壓ヲ 低下セシム
6. **リンゲル液** Lignor Ringeri ハクロールナトリウム 8.0 クロールカルシウム 0.1 クロールカリウム 0.075 重炭酸ナトリウム 0.1 蒸留水 1000.0 ヲ濾過シ 蒸氣滅菌セルモノニシテ用ニ臨ミ 調製シ 生理クロールナトリウム液ノ如ク使用ス

重炭酸ナトリウム

Natrium bicarbonicum.

白色ノ 結晶塊又ハ 結晶性粉末ニシテ 12分ノ水ニ溶解シ(8.3%)弱アルカリ性反應ヲ呈ス 大氣中ニテ變化セズ 不純ナル粗製品ハ 炭酸アンモニウムヲ 夾雜スルガ故ニ 加熱又ハ 溶液トスレバ アンモニウム臭ヲ呈ス

處方及其適用

點眼水	1. 硼酸	3.0
	重炭酸ナトリウム	0.025-0.03
	蒸留水	10.0
	慢性結膜炎ニ	1日3回患者自宅用

洗滌及電法料	2. 硼酸	2.0-3.0
	重炭酸ナトリウム	0.25-0.3
	水	100.0
	結膜及角膜疾患ノ洗滌及電法ニ用ウ	
	3. 重炭酸ナトリウム	0.5-1.0
	水	100.0
	酸ニ因ル眼外傷ニ適用	

チオジナミン

Thiosinamin.

揮發芥子油ト アンモニウムノ 化合物ニシテ 化學名アリールチオ尿素 無色又ハ 帶赤色ノ 結晶ナリ 水ニ僅ニ 酒精ニ 容易ニ 溶解ス 癩痕ヲ 軟化溶解スル目的ニ 外用又ハ 注射ス

處方及其適用 視神經炎後ノ 視神經萎縮 反復性網膜硝子體出血 增殖性網膜炎ニ 10-15% グリセリン加水溶液(チオジナミン 10.0-15.0 グリセリン 20.0 蒸留水 80.0 煮沸滅菌)ヲ 隔日 1筒皮下注射スルモ 効力顯著ナラズ

フィブロリジン

Fibrolysin. „Merk.“

チオジナミントサリチール酸ナトリウムトノ 複鹽ニシテ 白色水溶性結晶末ナリ 癩痕ヲ 軟化溶解スル目的ニテチオジナミンノ 約2倍量ヲ 外用及皮下注射ス

處方及其適用 視神經炎後ノ 萎縮 硝子體出血 增殖性網膜炎ニハ 上膊又ハ 背部皮下ニ 皮膚癩痕ニハ 局部ニ接シ皮下ニ 隔日又ハ 3日毎ニ 5-50回注射ス

眼科用滅菌フィプロリジンハ管入ニシテ管ノ兩端ヲ折リ一端ニゴム帽ヲ附シ普通點眼瓶ノ如クニ使用シ角膜翳ニ1回2-3滴點眼ス豫メデオニン水ヲ點眼シテ行フナルベリジン Narbelysin ハフィプロリジント同質ノ邦製品ナリ

ジリナール

Sillna. (鹽野)

無水硅酸ナトリウムノ1%注射用液ニシテ動脈硬化症 腦溢血 慢性腎臟炎 血壓亢進ニ1回1-2cc宛1週2回靜脈内注射シ10-20回ヲ1クールトス

XII. 補血及滋養藥

キナ皮

Cortex Chinae.

Cinchona 屬殊ニ Cinch. succirubra ノ幹及枝ノ皮ヲ採集乾燥セルモノニシテ キニーネ及キナアルカロイドノ外ヒノヴァン キナ鞣酸等ノ苦味ヲ有ス
處方及其適用 貧血 病後ノ恢復期ニキナ煎(0.5-1.0) 90.0 稀鹽酸1.0 單舍利別10.0ヲ1日數回ニ分服セシム

規鐵丸

Pillulae Ferri et Chinini.

1丸中鹽酸キニーネ及還元鐵各0.05ヲ含有シ強壯藥トシテ貧血及腺病性眼疾患ニ1回2-3丸ツ1日3回服用セシム

枸橼酸鐵キニーネ

Chininum ferro-citricum.

光澤アル赤褐色ノ小葉片ニシテ味苦ク9-10%ノキニーネ21%ノ鐵ヲ含有ス強壯藥トシテ貧血及腺病性眼疾患ニ1回0.2-0.5ヲ毎食後服用

フェラチン

Ferratin. „Boehring.“

人工蛋白鐵ニシテ赤褐色殆ド無味無臭ノ粉末約6%ノ鐵ヲ含ミ水及弱酸性液ニハ不溶ナレドモアリカリ性液ニハ溶解ス

處方及其適用 補血強壯劑トシテ貧血 虛弱 病後衰弱ニ1日量0.5-1.0宛1日3回服用 小兒1日量0.1-0.5

フェラトゼ

Feratosc.

肝臟中ニ含マル、フェラチン(鐵アルブミン酸)ニ則リ人工的ニ製出セルモノニシテ胃腸ヲ害セズ吸収セラ

レ易キ鐵劑ナリ 0.3%ノ有機鐵ヲ含ミ芳香及甘味ヲ附加セルガ故ニ小兒ニモ服用シ易シ

處方及其適用 補血 強壯劑トシテ病後 衰弱 虛弱 貧血ニ1回 12.0-20.0ヲ毎食後湯又ハ茶ニ和シテ服用持續ス

ヨード・フェラトゼ Jod-Feratose (フェラトゼニ0.3%ヨードヲ含ムモノ) **アルゼン・フェラトゼ** Arsen-Feratose 0.003%ノ砒素ヲ含ムモノ)ハ變質強壯劑トシテ使用セラル

フェローゼ Ferose, **ブルトゼ** Blutose ハ共ニ邦製フェラトゼニシテ **ヨード・フェローゼ** **アルゼン・フェローゼ** **ヨード・ブルトゼ** **アルゼン・ブルトゼ** ハ各ヨード或ハ砒素ヲ含ミ 其含量フェラトゼニ等シク 用法用量適應症亦フェラトゼニ同ジ

レチチン

Lecithin.

燐ヲ含有スル類脂肪體所謂フォスファチード Phosphatid ニシテ中樞神經系ニ多量ニ含マルヲ以テ 神經系統ノ榮養促進ノ目的ニ用キラレ又タ一般榮養障礙 骨疾患 貧血ニ適用セラル 種々ナル製劑アリ **オヴォ・レチチン** Ovo-Lecithin, **レチトール** Lecithol ハ共ニ褐色舍利別狀物質ニシテ神經衰弱 ヒステリー 脊髄癆性視神經萎縮ニ0.1-0.5ヲ内服セシムルモ 効果不明ナリ **ノイラレチチン** Neura-Lecithin ハ70%ノ純レチチンヲ含ミ 粉末

及錠劑アリ

ポリタミン

Polytamin. (武田)

蠶蛹ノ蛋白質ヲ消化セル アミノ酸混合物ニシテ トリプトファン チロチン ヒスチチン チスチン ヴィタミン グルタミン酸 アラニン ロイチン其他ヲ含メル水溶性粉末ナリ

處方及其適用 腺病性疾患 病後衰弱 榮養不良等ニ1日量 10-15.0ヲ温湯ニテ溶解シ用フ

液狀ポリタミン ハ30%ノポリタミンヲ含ミ2%ノグリセリン燐酸鐵ヲ配合シ甘味芳香アル舍利別ナリ 1回量 10-15.0ヲ1日3回 水 牛乳等ニテ稀釋シ用フ 猶ホ次ノ製劑アリ

ヨード・ポリタミン 液狀ポリタミンニ0.3%ノヨードヲ含ム

アルゼン・ポリタミン 液狀ポリタミンニ0.01%アルソゾンヲ含ム

キナ・ポリタミン 液狀ポリタミンニ10%キナアルカロイド含有ノキナ皮3%ヲ含ム

キノミール

Kinomeal. (和光堂)

蛋白質12% 脂肪6% 糖分4.1% 燐酸カルシウム1% 糊精35% 食鹽1% ヨリ成レル人工榮養品ニシテ又授乳不足ノ小兒ニ用ウ

處方及其適用 成人ハ5-6茶匙ヲ1合ノ湯ニ和シ
1日3回食後ニ用キ乳兒ハ次表ニ據リ服用ス但シ
健康乳兒ヲ標準トセルモノナルガ故ニ榮養状態ニヨ
リ適宜參酌スルヲ要ス

年齢	キノミール1回量	湯	日間ノ回数	夜間ノ回数	キノミール1日量
第一月	5	70	5	3	40
第二月	8	90	5	3	64
第三月	12	130	5	2	84
第四月	13	140	5	2	91
第五月	14	150	5	2	98
第六月	17	170	5	1	102
第七月	20	200	5	1	120
第八月	21	200	5	1	126
第九月以後	26	240	5	1	130

牛乳ニテ稀釋スル時ハ年齢ニ相當セル牛乳稀釋ニ對
シテ前表ノ3分1量ノキノミールヲ附加スベシ

オリザニン

Orizanin.

米糠ノ醱酵ニヨリ製シタルモノニシテビタミンB
ヲ含ム液體エキス粉末トアリ水溶液ハ冬期ハ2日
分夏期ハ1日分以上ハ變敗ノ惧アリ

處方及其適用 1. ビタミンB 缺乏症即脚氣及脚氣
弱視ニ適用ス

内服藥	1. オリザニン液	20.0-30.0
	ヨードカリウム	1.0-3.0
	桂皮水	6.0

水	100.0
1日3回分服 但ヨードカリウムハ少量 (1.0)ヨリ漸次増量 3.0以上ニ至ル	
2. オリザニン液	20.0-30.0
硫酸マグネシウム	5.0-10.0
稀鹽酸	1.0
水	100.0
便秘又ハ浮腫ヲ伴ヘル場合ニ1日3回分服	
3. オリザニン液	20.0-30.0
番木鱈丁炭	1.0
單舍利別	8.0
水	100.0
知覺及運動麻痺アル場合ニ1日3回分服	
4. オリザニン液	20.0-30.0
パンギタール	1.0
番木鱈丁炭	1.0
單舍利別	5.0
水	100.0
心臓型脚氣ニ1日3回分服	
散劑 5. オリザニン末	6.0-10.0
分3日3回 適用1ノ如シ	
6. オリザニン末	6.0-10.0
番木鱈エキス	0.02
分3日3回 適用3ノ如シ	
注射料 7. オリザニン注射液	1-3 筒
日々又ハ隔日ニ皮下注射	
〔附記〕 脚氣及脚氣弱視ニハ上記處置ヲ行フ外 猶ホ 食餌ヲ改メ白米ヲ禁ジテ半搗米又ハ玄米トシ生卵(1 日3-4個)魚肉 獸肉 新鮮ナル蔬菜ヲ攝取シ 雜 佃煮ノ類ヲ避クベシ 麥飯ハ麥6-7分以上トゼザレ	

バ効ナシ(島菌教授)

パラヌトリン Paranutrin.

米糠ヨリ抽出セルヱビタミンB製劑ナリ 液體 粉末
注射料トアリ

處方及其適用 液體ハ1日量15.0-30.0 粉末ハ1
日量6.0-10.0 注射料ハ1日1-5筒 其處方及適用概
ネオリザニンノ如シ

スベルゾン Spelzon.

玄米及米糠ヲ醱酵セシメテ作レルモノニシテ粉末 液
體 錠劑 注射用トアリ 重曹ヲ配合禁忌ス 貯藏中沈澱ヲ
生セバ濾過スレバ使用シ得

處方及其適用 一般脚氣ニ粉末1日量1.0 錠劑1
日2錠1日3回 液體1日量10-30.0 注射1日2cc
皮下又ハ靜脈内ニ適用

其他ノ糠製劑

ウリヒン Uribin. 米糠ヨリ抽出セルヱビタミンB製劑
粉末及注射料トアリ 脚氣ニ粉末 1日1.5-2.0 皮下注射
1-3筒

2. パンベリン Panberin. 米糠成分ノ流動エキス狀濃稠
液1回20.0-30.0 1日3回適宜稀釋シテ用キ又ハヨード
劑 硫酸マグネシウム等ト伍用ス

3. ベリカイン Bericain. 注射料ト錠劑トアリ 1回量
5-7 錠ヲ1日3回 内服 注射料ハ1回1-3筒

4. ベリスチン Bristin. 1日量4-6.0ヲ3回ニ分服 水
劑トスル場合ニハ稀鹽酸ヲ加フレバ全部溶解ス

5. ネオクナリン Neokunarin. 淡褐色粉末ニシテ水ニ溶
解ス 引濕性ナリ 1回0.5-1.0ヲ1日3回散劑又ハ水劑
トシテヨードカリウム 硫酸マグネシウム ホミカ丁幾
等ト伍シ用ウ

6. ネオクライエクス Neokleextract. 暗赤色濃稠液 水
ニ溶解ス 1日10.0-30.0ヲオリザニンニ於ケルガ如ク
適用ス

7. ヴィタミノール Vitaminol. ヴィタミンB製劑ノ注
射藥ニシテ1回1-2筒皮下又ハ靜脈内注射

肝 油 Oleum Jecoris.

大口魚屬ノ肝臟中ニ存スル油ニシテ不快ノ臭氣アリ
所謂ヴィタミンAヲ含ミ 特發性夜盲症 結膜角及膜乾燥

症=特效アリ 腺病 結核 貧血=モ奏効ス

處方及其適用 特發性夜盲症 結膜及角膜乾燥症ニハ 20.0ヲ1日3回=分チ 牛乳=和シテ與ヘ 初生兒榮養不長ニヨル 眼乾燥症ニハ 點眼瓶=入レ 直接口=又ハ牛乳=滴下シテ與フ 腺病 結核 貧血ニヨル強壯劑トシテ用ウル場合ハ成人ハ1酒杯 小兒ハ其約3分1量ヨリ漸次増量シ1-2酒杯=至ルベシ

肝油乳劑 Emulio Olei Jecoris. 5%ノ次亞磷酸カルシウムヲ含ミ 揮發油ニテ調味セル50%ノ肝油ヲ含メル乳劑ナリ 肝油ノ倍量ヲ用ウベシ

クリーム肝油 Cream Cod-Liver Oil. (國中) 肝油ニカルシウムヲ加ヘ乳狀トセルモノニシテ1回量8-10.0 1日2-3回食間=服用

蛋白肝油(友田) 肝油=蛋白ヲ配合セル固形體ニシテ其1個ハ1.08ノ肝油ヲ含ム

アルチエリー肝油(田邊) 脱臭セル肝油ニシテ98%ノ肝油ヲ含ム

ビタミンA Vitamin A ハ肝油ノ未知有効成分トセラル、ビタミンAヲ含ミ 理化學研究所ヨリ販賣セルモノハ膠囊1個中肝油10.0=相當スル有効成分アリトイフ

オヴァルチン

Ovaltine. „Wander.“

マルツエキス 牛乳 鶏卵ノ可溶性成分ヲ抽出シ濃縮乾燥セル褐色粉末ニシテビタミンABCヲ含ムトイフ

處方及其適用 滋養強壯劑トシテ病後衰弱 榮養不長 虛弱ナル體質ノモノニ與ヘ 1回1茶匙ノ温湯

又ハ温メタル牛乳ニ投シ毎食後服用

[附記] 變質藥中ニハ補血及滋養藥ヲ含ムモノアリ 参照スベシ

XIII. 臟器製劑

チレオイヂン

Thyreoidin. „Merek.“

山羊ノ甲状腺ヨリ製セル黄灰色ノ粉末ニシテ粉末ト錠劑トアリ 中毒症狀トシテ心悸亢進 不安 不眠 嘔吐ヲ來スコトアリ

處方及其適用 甲状腺腫 バセドウ氏病 骨筋ノ發育不全 迷走交感及末梢神經ノ機能障礙 頑固ナル濕疹 皮膚創傷ノ治癒促進等ニ 1日0.1ヲ3回=分服シ漸次増量シテ0.3=至リ持續ス 中毒症狀起ラバ休藥ス(485頁参照)

チレオイド

Thyreoid gland desicated. „Parke Davis.“

甲状腺製劑ニシテ0.065ハ新鮮甲状腺0.325ニ相當ス

處方及其適用 バセドウ氏病 頑固ナル皮膚病ニ
1日 0.2-0.4ヲ チレオイヂンノ如ク適用ス

チラーデン
Thyraden. „Knoll.”

乾燥甲状腺エキスノ粉末ニシテ其 1.0グラムハ ヨー
ド 0.3ミリグラム新鮮甲状腺 0.3グラムニ相當ス

バセドウ氏病ニ粉末 1回 0.15-0.3 1日3回 錠劑 1回
1-2錠宛 1日3回服用

ロダーゲン
Rodagen.

甲状腺ヲ摘出セル山羊ノ乳汁ニ乳糖ヲ加ヘシモノ
バセドウ氏病ニ 1日 5-10.0ヲ散劑トシテ持續内服

アンチチレオイヂン
Antithyroidin Moebius. „Merck.”

甲状腺摘出術ヲ行ヘル牛ノ血清ナリ 液體ト錠劑トアリ

處方及其適用 バセドウ氏病ニ第1日第2日ハ 1
日3-4回 1錠宛 第3日第4日ハ 1日3回 2錠宛 第5
日第6日ハ 1日4回 2錠宛 第7日第8日ハ 1日5回 2
錠宛ヲ用キテ後 2日間休藥シ又漸次減量シテ初量ニ
復歸シ 再ビ漸次増量ス 液體ヲ用ウル場合ハ初メ 1
日3回 10滴宛 第3日 15滴宛 第5日 20滴宛 第7
日 25滴宛 第9日 30滴宛 第11日ヨリ漸次減量シ

テ初量ニ歸リ更ニ増量反復ス

ヨードチリン
Jodothylin. „Bayer.”

甲状腺中ノ有効成分ニ乳糖ヲ附加セルモノニシテ 1錠
中ヨードチリン 0.3ヲ含有ス

處方及其適用 甲状腺腫 動脈硬化症等ニ初メ 1
錠ヨリ漸次増量シ 1日5錠ニ至ル 頭痛 眩暈 嘔吐
心悸亢進 一過性蛋白尿 體重減少等ノ中毒症狀起ラ
バ服用ヲ中止スベシ
甲状腺製劑ノ中毒ヲ豫防スルニハ 砒素劑 エラルソ
ン等ヲ用キ又植物性食餌ヲ攝取スベシ

チラーデン (武田) 甲状腺末 (鹽野) ハ共ニ邦製甲
甲状腺製劑ナリ

ピツイトリン
Pituitrin. „Parke Davis.”

腦下垂體後葉ノエキスニシテ 1回量 1ccヲ皮下注射シ
内服ニハ 0.5-2.0ヲ 1日3回ニ分服ス 副作用トシテ耳鳴
散瞳 下痢 蛋白尿 苦悶 失神 子癇様發作アルコトアリ

ピツイタリー液
Solution Pituitary extract. „Mulford.”

腦下垂體後葉エキスニシテ 1ccハ腦下垂體 0.2ニ相當
ス 1回量 0.5-1.0ヲ皮下注射ス 内服スルモ効ナシ 副作
用 ピツイトリンニ同ジ

ピツグランドール

Pituglandol. „Roche.”

腦下垂體漏斗部中ノ有効成分ニシテ 1回量 0.5-1 cc 宛
効果ノ現ハル、マデ皮下注射ヲ反復ス 副作用ピツイト
リンニ同ジ

ヒポフイーゼン・エキス

Ext. Hypophysen. „Schering.”

松果腺エキスニシテ 1回 0.5-1.0 ヲ皮下注射

ヒポフィジン

Hypophysin. „Hoechst.”

腦下垂體後葉ノ有効成分ノ 1000 倍液ナリ 1回量 0.5-
1.0 ヲ皮下注射ス

カゼオザン

Cascosan. „Heyden ”

5%滅菌カゼイン溶液ニシテ膿漏眼 角膜實質炎 敗血
性及膿毒性疾患ニ皮下又ハ筋肉内注射ス 初メ 0.1cc ヲ注
射シテ反應ヲ検査シ後漸次増量シテ 1.0-2.0 ニ達セシム
日々又ハ隔日或ハ 1週 2 回行フベシ(蛋白體療法参照)

エリオザン

Eryosan. (武田)

3%カゼイン滅菌注射液ニシテカゼオザンノ如ク 1回
量 1cc ヲ皮下又ハ静脈内ニ注射ス

XIV. 下 劑

蓖麻子油

Oleum Ricini.

Ricinus communis ノ子殻ヲ除キタル種子ヨリ得タル脂
肪油ニシテ無色又ハ類黄色澄明濃稠ノ液ナリ 主トシテ
蓖麻子油酸グリセリンヨリ成リ微ニ特有ノ臭氣アリ 腸
液ニ遭ヒテ一部鹼化セラレ蓖麻子油酸ヲ遊離スルタメ其
刺激ニヨリテ腸ノ蠕動ヲ亢進セシム 其作用ハ腸ノ上部
ニ始マルヲ以テ中毒 消化不良ニ際シ根本的ニ腸内容ヲ
排除スルニ適ス

處方及其適用 上記ノ理由ニヨリ急性食中毒 藥
物中毒(但シ磷 サントニーネ 綿馬ニハ之ヲ溶解ス
ルガ故ニ用ウベカラズ)一過性便秘等ニ 1回量 10.0-
30.0 ヲ頓服セシム

カスターロール

Castarol. (田邊)

蓖麻子油ニ芳香ヲ附セシモノ 98%ノ純蓖麻子油ヲ含ム
 ム 蓖麻子油ヨリモ服用シ易シ

局方蓖麻子油ニ代用シ 1回量 10.0-30.0 ヲ服用ス

リシコール

Rieicol. (友田)

粉末ヒマシ油ニシテ ヒマシ油適應症ニ粉末ノマ、又ハ茶 珈琲 牛乳ニテ 1回量 5.0-10.0-20.0 ヲ頓用

硫酸マグネシウム

Magnesium sulfuricum.

無色 稜柱狀 小結晶ニシテ 等分ノ水ニ溶ケ 中性ノ反應ヲ呈シ 味苦鹹ナリ

處方及其適用 (1)下劑ノ目的ニテ 1回 8.0-15.0 ヲ頓用シ 若シクハ 15.0-30.0 ヲ 1日 3回ニ分服ス 服用時多量ノ水又ハ曹達水(重炭酸ナトリウム 2.0 ヲ 250.0-500.0 ノ炭酸水ニ溶解セルモノ)ヲ飲用スレバ 奏効顯著ナリ 稀鹽酸(1日量 1.0-1.5)砂糖 柱皮水等ヲ伍用スレバ服用シ易シ

(2)破傷風等ノ強直性痙攣ニ 25%液 10-20 cc 宛 1日 1-3 回皮下又ハ靜脈内ニ注射スレバ 鎮痙 鎮痛 麻醉作用ヲ呈ス

[注意] 驅蠱 其他ノ目的ニテ 汞劑ノ注射ヲ行ヘルモノニ 硫酸マグネシウムヲ内服セシムレバ 時ト

シテ激シキ腸炎(下痢 血便 腹痛)ヲ起スコトアリ

人工カルルス泉鹽

Sal Carolinum baetitium.

乾燥硫酸ナトリウム 22分 硫酸カリウム 1分 食鹽 9分 重炭酸ナトリウム 18.0 ヲ成レル 白色ノ粉末 水ニ溶解ス 6.0 ヲ 1000.0 ノ水ニ溶ケバ 天然カルルス泉水ト概ネ等シキ液ヲ得

處方及其適用 空腹時 1茶匙 又ハ 1食匙ヲ適宜水ニ溶解シ内服スレバ 瀉下ス 炭酸鹽ヲ含メルガ故ニ 持長スルモ アルカリ缺乏ヲ來スコトナシ

甘 汞

Calomel.

殺菌(防腐)藥「甘汞」參照

セラガール

Celagar. (三共)

寒天ニ一種ノセルローゼヲ配合セシモノ 常習便秘ニ 1回 5-20錠ヲ頓用又ハ 1日 3回ニ分服

レガール

Regal. (東京藥品)

寒天ニ カスカラ・サグラダヲ配合セル茶褐色粉末ニシテ 緩下劑トシテ 常習性便秘 手術前後ノ排便ニ 1回量 0.2-1.0 ヲ 1日 1回又ハ 3回服用

レグリソ

Beguün.

寒天ニカスカラ・サグラダエキスヲ 25%ノ割合ニ吸
收セシメタル粉末 緩下劑トシテ 1日 1-2回 1-2茶匙ヲ
服用

カスカラ・サグラダ

Cascara sagrada.

ラムヌス・プルシアナノ皮ヲ採集セル後少クモ1年ヲ
經タルモノニシテ味苦シ 新鮮ナルモノホド峻下劑タリ

處方及其適用 緩下劑トシテ 10%煎劑トシ内服
スルモ錠劑ノ簡便ナルニ如カズ 種々ナル製劑アリ

ペリスタルチン

Peristaltin. "Ciba."

カスカラ・サグラダ皮中ノグリコシードニシテ黄褐
色ノ粉末 緩下劑トシテ常習便秘ニ用ウ 妊婦ニモ害
ナシ 錠劑1個ニ本劑 0.05ヲ含ム 1回量 2-4錠

カスカロイド

Cascaroid. (友田)

カスカラ・サグラダノ乾燥エキスニシテ 1錠ハ 0.132
ヲ含ム

フェノールフタレイン(ブルゲン)

Phenolphthalein. (Purgen.)

白色又ハ類黄白色結晶性又ハ無晶形ノ粉末ニシテ臭氣
ナク 水ニ殆ド溶解セズ アルカリ性液ニテハ紅變シ酸性
液ニテハ無色ナルガ故ニ 標指藥トシテ 使用セラル 内服
スレバ腸ニ至リ ナトリウム鹽トナリ 溶解シテ下劑トナ
リ 腸管ヨリ吸收セラレ難ク約 80%ハ大便ト共ニ出ツ
副作用トシテ 腹痛 裏急後重 心悸亢進 嘔氣アルコトア
ルモ稀ナリ

處方及其適用 常習便秘ニ無害ナル緩下劑ニシテ
又手術前後ニ適用セラル 妊婦ニモ障碍ナシ 1回量
0.1-0.5 就寢時頓用 又ハ 0.3-1.0 ヲ 1日 3回ニ分服

フェノールフタレイン・アガー

Phenolphthalein-Agar. (三共)

寒天ニ フェノールフタレインヲ含マセタルモノ 1.0
中ニハ フェノールフタレイン 0.03 ヲ含有ス 常習便秘
其他緩下劑トシテ 1回量 1.0 1日 3回服用

アペレイン

Apercin. (友田)

イソワレリール・エチール・フェノールフタレインノ無
味白色ノ粉末ニシテ緩下劑トシテ粉末 1回量 0.2-0.4 ヲ
用ウ 錠劑1個ノ含量ハ 0.25ニシテ 1回 1-2個ヲ服用

アペリトール

Aperitol. „Riedel.“

フェノールフタレイン異性纈草酸エステルト醋酸エステルトノ化合物ニシテ不溶性ノ粉末ナリ 副作用トシテ胃部不快 腹痛 直腸ノ疼痛アルコトアリ

處方及其適用 錠劑1個ハ本劑0.2ヲ含ミ緩下劑トシテ1-3錠服用後排便マデ4-12時間ヲ要ス

ラキサトール Laxatol (鹽野)ハ邦製アペリトールナリ

アブフリン

Abfrin. (武田)

安息香酸アセチル・フェノールフタレインノ白色無味無臭ノ粉末ニシテ常習便秘其ノ他諸種ノ便秘ニ1日0.3-0.6-1.0ヲ3回ニ分服シ或ハ0.2-0.5ヲ頓用ス

ペリストール

Peristol. (田邊)

デヒドロキシフタロフェノンニシテ錠劑トシテ販賣セラル 常習便秘及便通ヲ要スル場合ニ1-3錠頑固ナル便秘ニハ4-6錠ヲ空腹時又ハ就寢時ニ服用

イステチン

Jstizin. „Bayer.”

二酸化アントラヒノンノ橙黄色粉末ニシテ大腸ニ作用スル緩下劑ナリ 1錠ハ0.15ヲ含ム 常習便秘及手術前後ニ1回1-3錠ヲ就寢前頓用シ或ハ1日2回服用

XV. 其 他

フルオレスチン及フルオレスセイン

Fulorescin. u. Fluolescein.

黄赤色ノ酸性アニリン色素ニシテ水ニ溶解セズ アルカリ性溶液ニ溶解ス 兩者トモ角膜表層ノ缺損部ニハ綠色ニ染色シ診断用ニ供セラル

フルオレスセイン又ハフルオレスチン0.4 炭酸ソーダ0.7 蒸留水20.0ヲ角膜表在性物質缺損ニ點眼後水洗シ或ハ涙道狭窄ノ有無ヲ檢スルタメ點眼後約5分ヲ經テ擤鼻セシメ鼻汁ニフルオレスチンノ染色ノ有無ヲ檢ス(涙道消息子法参照)

フルオレスチンナトリウム Natrium fluoescinum ハ水溶性ニシテフルオレスチン0.3-0.6 流動石炭酸1滴蒸留水30.0ヲ前記ノ如ク適用ス

亞硝酸アミール

Amylum nitrosum.

類黄色澄明揮發性ノ液ニシテ特有ノ臭氣アリ 水ニ不溶 點火スレバ黄色ノ火焰ヲ放チテ燃ユ 吸入スレバアミールアルコールト亞硝酸ト分解シ顔面潮紅

温感 心臓搏動亢進 頭重 酩酊ヲ感ジ漸次頭部ヨリ
胸腹部ニ及ブ 大量ヲ吸入スレバ全内臓ノ血管ヲ麻
痺セシム (1)コカイン解毒ニガーゼニ2-3滴ヲ滴下
シテ鼻口ヲ覆ヒ (2)網膜中心動脈栓塞ニ上記ノ如ク
吸入セシメテ網膜血管ヲ擴張セシム

ストリキニーネ

Strichinin.

蓄木髓子中ニ含マル、アルカロイドナリ 中樞神
經ニ於ケル反射興奮性ヲ高メ 輕度ノ刺激ヲ加ヘ同
時ニ全身筋ノ強直ヲ來ス 眼ニアリテハ注射又ハ點
眼ニヨリテ直接網膜ニ働キテ視野擴大 色彩濃淡ノ
識別力ヲ増進ス 蓄積作用アルガ故ニ中毒ノ初徴ア
ラバ中止スベシ

中毒症狀 第一期前驅症トシテ咀嚼筋及項筋 下
顎筋ノ硬強 牽引感 四肢震顫 識官ノ刺激過敏 苦悶
感等ヲ見 次デ反射興奮性ノ亢進 僅微ナル動機ニヨ
リテ反復スル全身強直發作ノタメニ窒息死ヲ來シ
(第二期痙攣期) 終ニ神經中樞一般ノ衰退 麻痺ニヨ
リテ死亡ス(第三期 麻痺期) 所置ハ一般アルカロ
イド中毒ニ對スル所置ノ外ニ アボモルヒネ注射 胃
洗滌 骨炭末内服ヲ試ミ 痙攣ニ對シテハクロ、ホ
ルム エーテル 吸入 抱水クロラール 灌腸 プローム
カリウム内服ヲ試ミ 猶ホ酸素吸入等ヲ行フベシ

硝酸ストリキニーネ Strichininum nitricum. ハ無色
ノ鍼狀結晶ニシテ 味苦ク90分ノ水ニ溶ケ(1.1%)
熱湯ニ33%溶ク 極量1回0.005 1日0.015
1%水溶液0.1ccヲ皮下ニ注射シ 漸次増量シテ0.5
ccニ至リ 中毒ニ注意シツ、視神經消耗症及網膜疾
患ニ用ウルモ 症候的療法ニ過ギザルガ故ニ 近時其

適用漸次廢セララル、ニ至レリ

酒石酸アンモニウム

Ammonium tartaricum.

白色可溶性ノ結晶ニシテ角膜及結膜石灰腐蝕ニ用キ
其ノ輕症ナルモノニハ奏功スルモ重症及陳舊症ニハ
多クハ無効ナリ 使用前反應ヲ検査シテ必ズ中性ナ
ルコトヲ要ス

處方及其適用 豫メ10%ノゾカイン又ハ2%
アリピンヲ點眼シ 10%酒石酸アンモニウム點眼 1
日數回 或ハ眼浴器法料トシテ 初メ5%液ヲ 漸次濃
度ヲ高メテ 20%ニ至ル 粗大ナル石灰末アラバ銳
匙ニテ輕ク除去シテ後本法ヲ行フベシ 數週乃至數
月持續加療ス

クロールアンモニウム(礮砂)

Ammonium chloratum.

白色結晶性ノ粉末 或ハ纖維狀ノ堅キ結晶塊ニシテ
3分ノ水ニ溶解ス(33.3%)

處方及其適用

點眼水	1. クロールアンモニウム	0.2-1.5
	蒸餾水	10.0
角膜石灰沈着症ニ1日數回		
眼浴及 器法料	2. クロールアンモニウム	1.0-10.0
	水	100.0
	角膜石灰沈着症ニ1日數回適用	
	3. クロールアンモニウム	5.0-10.0

酒石酸 0.02-0.1
水 100.0
角膜鉛沈着症 = 1日數回

安息香酸リチウム
Lithium benzoicum.

角膜及結膜ノ石灰腐蝕 = 其 5%液ヲ 1日數回眼浴又
ハ 鞣法料トシ 5-10%液ヲ 1日數回點眼ス

小兒藥量表

1. フーフェランド氏表ハ獨逸ニテ專ラ行ハル

年齢	藥量
25-50(歳)	100
1/2-1(月)	1.25-5
1-2(,,)	5-10
2-3(,,)	10-12.5
3-5(,,)	12.5-15
5-7(,,)	15-17.5
7-9(,,)	17.5-20
9-11(,,)	20-25
1-2(歳)	25-32.5
2-3(,,)	32.5-40
3-4(,,)	40-45

4-5(,,) 45-50
5-10(,,) 50-62.5
10-20(,,) 62.5-87.5
20-25(,,) 87.5-100

2. ガウピウス氏表

年齢	藥量
20-60(歳)	1
1歳以下	1/13-1/15
1-2(歳)	1/8
2-3(,,)	1/6
3-4(,,)	1/4
4-7(,,)	1/3
7-14(,,)	1/2
14-20(,,)	2/3

3. ヤング氏法 a ヲ小兒ノ年齢(數ヘ年ニアラズ)トシ
テ 成人ノ量ニ次ノ式ヨリ得タル數ヲ乗ズベシ

$$\frac{a}{a+12}$$

即 5歳ノ小兒ハ成人ノ 0.274 倍ヲ用量トス

4. カウリング氏法 成人ノ用量ニ小兒ノ來ルベキ
誕生數ヲ 24ニテ除シタル商ヲ乗ズ 例ヘバ 5歳ノ小
兒ハ成人ノ 0.208 倍ヲ用量トス5. ブラントン氏法 成人ノ用量ニ小兒ノ來ルベキ
誕生ノ數ヲ 25ニテ除シタル商ヲ乗ズ 例ヘバ 5歳ノ
小兒ハ成人ノ 0.24 倍ヲ用量トス

〔附記〕 上記中ノ年齢ハ實際ノ經年數ニシテかぞ
ヘ年ニアラズ

索引

	(頁)		
イ			
石津式消毒點眼瓶容器	7	絆創膏繃帶	157
石原式加温洗眼装置	20	發汗療法	183
石津式電氣電法器	46	ビロカルピン——	184
井上氏電氣燒灼器	97	アスピリン——	184
井上氏涙囊洗滌器	120	坐浴及足浴ニヨル——	185
イオントホレーゼ	172	全身浴ニヨル——	186
チンク——	176	電氣光線浴ニヨル——	186
カルシウム——	176	破傷風血清	246
ヨード——	176	肺炎菌血清	246
伊東氏イオン療法器械	173	ハイネ氏老視表	272
イマミコール	363	バンカイン	303
遺傳黴毒ノ治療	374	パラネフリン	317
イトロール	391	白阿膠	319
イヒタルガン	395	パントボン	324
イヒチオール	422	——スコボラミン	325
イスチチン	492	パボン	325
ロ			
ローランソー氏蒸氣電法器	37	——スコボラミン	325
老視ノ眼鏡	270	パンロイド	325
老視表	272	パンモルフォン	325
ハイネ氏——	272	黴毒ト水銀劑	357, 369
カツ氏——	273	黴毒トサルヴァルサン	369-382
ホルツ氏——	273	白降汞	365
アダム氏——	273	パンチオール	424
ロダーゲン	484	パラヌトリン	480
ハ・バ・パ			
バクエレン氏烙白金燒灼法	96-102, 109, 111	パンペリン	481
麥粒腫ノ治療	107, 110	ニ	
		二重醜轉	62
		日光療法	210
		フィンゼン氏——	211
		乳酸オイカイン	306
		乳酸カルシウム	319

乳酸	456
ホ・ホ・ホ	
ボーファン氏涙囊消息子	123
繃帯	151
保護——	152
壓迫——	152
乾燥——	153
濕潤——	154
膏劑——	154
角——	154
絆創膏——	157
小——	157
簡易——	157
巻軸——	160
開放——	161
時計皿——	165
保護眼鏡	191
健康眼用——	191
紫外線——	192
光線——	194
職業的——	195
疾病眼用——	196
ポンドルフ氏皮内接種法	242
ホルツ氏老視表	273
ホロカイン	303
ボスミン	317
抱水クロラール	344
防腐(殺菌)薬	349-434
硼酸	418
硼砂	421
ホーレル水	468
ポリタミン	477
アルゼン——	477
ヨード——	477
キノ——	477

液状——	477
補血及滋養劑	474-483

へ・べ・べ

ベッケル氏加温洗眼装置	19, 33
ヘス氏眼帯	163
平流電気療法	167
ベタオイカイン	306
ペンツォザリン	326
ベクトール	338
ベルキシール	408
ベルヒドロール	406
ベルボラックキス	406
ヘキサメチレンテトラミン	409
ヘルミトール	406
ヘサチラミン	408
ヘトール	429
ペンチン	432
ペーテルス氏亞鉛華イヒチオ	441
ール軟膏	441
ヘブラ軟膏	449
ペリドール	461
變質薬	463-474
米糠製劑	478-481
ペリカイン	481
ペリスチン	481
ペリスタルチン	490
ペリストール	492

ト・ド

等張性點眼水	4
塗布	25
眼瞼——	25
結膜——	27

角膜——	29
トラホーム鑷子ノ種類	83-85
トラホーム刷子	91, 92
トラホーム鑷	91
トラコマトーム	91
ドンベルグ氏トラホーム鑷	91
時計皿繃帯	165
凍冷療法	177
瞳孔距離ノ測定	275
瞳孔距離計	275
特殊レンズ	276
トロバコカイン	306
トリゲミン	329
ドルミン	341
トリオナール	346
塗擦療法	359, 454
トリプロム石炭酸蒼鉛	403
銅礬	437
——桿	437
ドノヴァン液	470
礬砂	495

チ・チ

チンク・イオントホレーゼ	176
チンク滲透法	177
チフテリー血清	245
チオニン	310
鎮痛薬	322-338
鎮静薬	339-344
チ・メチール・アミド・アンチ	328
ピリン	328
チプロザール	335
チアール	348
チ・チモール・チヨード	399
チオキシソ	406
チオノール	424

——カルシウム	424
チオジナミン	473
チレオイヂン	483
チレオイド	483
チラーデン	484
チラーヂン	485

リ

リーベルマン氏眼窩浸潤麻醉	146
淋菌ワクチン	236
自家——	237
硫酸アトロピン	278
——ノ中毒及解毒法	279
——ノ眼障碍	279
硫酸モルヒネ	323
磷酸コデイン	324
リンピリン	335
リゾフォルム	407
カルボル——	407
リゾール	414
リヴァノール	426
硫酸銅	434
——ノ眼障碍	434
——桿	435
硫基石炭酸亞鉛	444
硫酸亞鉛	444
リポヨヂン	467
リンゲル液	472
リシコール	488
硫酸マグネシウム	488

ヌ

ヌクレイン銅	439
ル	
涙囊洗滌法	117, 120

涙嚢洗滌器	120
大西氏——	120
井上氏——	120
アネル氏——	120
エッケル氏——	120
涙嚢消息子法	117, 123
持續——	128
涙嚢部ノ浸潤麻醉	148
ルミナール	348
——ナトリウム	348
ルエスチン	358
ルゴール氏液	26, 388

オ・ヲ

温罨法	罨法(43)ヲ見
ヨ小川式灌水器	34
小川氏トラホーム鑷子	84
大西氏トラホーム鑷子	85
大西氏吸引装置	116
大西氏涙嚢洗滌器	120
ワルト・マドックス氏潜伏斜	
視矯正表	256
オイスコボール	284
オイフタルミン	286
オイミドリン	286
オルトフォルム	309
新——	309
オイゼミン	317
オボピリン	335
オキサチン	358
オキササルミン	363
黄降汞	366
オイロフエン	401
オキシフル	408
オキシハイド	406
オイガロール	417

オイチオール	424
ホプトヒン	427
オクソチン	429
オクサーン	453
オウオレチチン	476
オリザニン	478
オヴァルチン	482

ワ

ワクチン療法	232
葡萄状球菌——	235
連鎖状球菌——	236
淋菌——	236
結核菌——	237, 243

カ・ガ

カルト氏結膜大洗滌	16
眼浴	20
眼浴器	21
桿劑	31
灌水	35
冷却——	35
加温——	35
灌水装置	35-37
小川氏——	35
ウィンドレル氏——	19, 35
ベツケル氏——	37
ローランソー氏——	37
懷爐温罨法	51, 52, 56
開瞼法	57, 67
小兒ノ——	63
開瞼器ノ撰擇	57, 58, 59, 104
開瞼器	58-59
河本氏——	58, 59, 104
鹿兒島氏——	78, 59
メーリングル・ランドルト	

氏——	58
デスマー氏——	57, 59, 63, 65, 104

眼瞼ノ翻轉	61, 77
眼瞼ノ二重翻轉	62
眼瞼按摩	76
眼球按摩	87
カイング氏結膜按摩	77
角膜及鞏膜按摩	86
眼筋按摩	89
顆粒壓出術	79
クーント氏顆粒ヲ出器ニヨ	
ル——	79
ナツプ氏車轉鉗子ニ	
ヨル——	80
クレボルン氏車轉鉗子ニ	
ル——	80
ホイトニー氏車轉鉗子ニ	
ル——	80
水尾氏トラホーム鑷子ニ	
ル——	82
横松氏トラホーム鑷子ニ	
ル——	82
顆粒壓碎術	79
角膜搔爬法	93
眼瞼燒灼法	98, 109, 111, 171
角膜燒灼法	100, 171
眼窩燒灼法	102
角膜穿刺術	103
眼瞼膿瘍ノ切開	107
眼窩膿瘍ノ切開	110
眼筋ノ麻醉法	147, 151
眼瞼ノ麻醉法	147
眼窩ノ麻醉法	141-146
乾燥繃帶	153
角繃帶	154

簡易繃帶	157
卷軸繃帶	160
開放繃帶	160
感傳電氣療法	168
カルメット氏結膜反應	238
カツツ氏老視表	273
眼鏡ノ處方及撰擇	273
眼鏡ト眼トノ距離	273
眼鏡ガ眼トナス角度	276
眼鏡ノ兩レンズ間ノ距離	276
眼鏡ノレンズト瞳孔トノ關係	
——	276
眼鏡ノ兩レンズ間ノ傾キ	276
眼鏡棒	277
過クロール鐵液	318
カルチゾール	321
カリチーネ	321
カルモチン	341
過クロール汞	349
甘汞	353
角膜銀病	384
可溶性銀	392
過酸化水素水	406
カルボル・リゾホルム	407
過マンガノ酸カリウム	418
可溶性枸橼酸銅	438
苛性カリ	453
カリ石鹼	454
脚氣ノ治療	479
肝油	481
——乳劑	482
蛋白——	482
アルチェリ——	482
カゼオザン	486
緩下劑	487-492
カスターロール	488

カスカラサグラダ 490
 カスカロイド 490
 カウリング氏小兒藥量表 497

ヨ

横松氏トラホーム 鑑子 82
 ヨード・イオントホレーゼ 176
 ヨードカルシウム 321, 468
 ヨーカール 321
 ヨードピリン 327
 揚曹 332
 溶性アスピリン 334
 ヨード丁幾 397
 稀—— 398
 ヨドフォルム 398
 ——コロヂウム 399
 ——ガーゼ 399
 ヨドール 401
 沃剝 ヨードカリウムヲ見ヨ
 ヨードカリウム 463
 ——中毒 463
 ヨードナトリウム 466
 ヨード鐵舍利別 466
 ヨードノ有機化合物 466-468
 ヨチオン 467
 ヨデオール 467
 ヨードスタリン 467
 ヨヂビン 467
 ヨドーン 467
 ヨード砒素 470
 ヨード砒素水液 470
 ヨード・ヨードカリウム液 26, 388
 ヨード・フェラトーゼ 476
 ヨード・フェローゼ 476
 ヨード・ブルトーゼ 476

ヨード・ポリタミン 477
 ヨード・チリン 485

タ・ダ

高村式睫毛電氣分解器 168
 蛋白質療法 187
 他働免疫療法 244
 丹毒治療液 236
 タカモール 321, 338
 第一期徽毒ノ治療 369
 第二期徽毒ノ治療 371
 第三期徽毒ノ治療 372
 タンヴァルサン 377
 タンノフォルム 409
 タンニン酸 409
 タンニン タンニン酸ヲ見ヨ
 タール 432
 タールパスタ 441
 炭酸鉛 449
 炭酸ナトリウム 455
 乾燥—— 455
 粗製—— 455
 無水—— 455
 蛋白肝油 482

レ

冷電法 電法(43)ヲ見ヨ
 冷却管 45
 レントゲン療法 220
 連鎖状球菌ワクチン 237
 連鎖状球菌血清 246
 レゾルチン 415
 レニガロール 417
 レニセツト 452
 ブレノ——膏 452
 レゲロート軟膏 460

レチチン 476
 ノイラ—— 476
 オヴォ—— 476
 レチトール 476
 レガール 489
 レガリン 489

リ・ソ

掻爬法 89
 結膜—— 90
 角膜—— 93
 足浴 185
 ソムナール 341
 ソフォール 390
 粗製クレゾール 413
 ソソオ・ヨドール酸ナトリウム 414
 臍器療法 483

ツ

ツベルクリン療法 237
 膏—— 241
 無蛋白—— 243
 ツベルクリン軟膏反應 238
 ツベルクリン軟膏療法 241
 ツトウイン 308
 ツメノール 425
 ツメノール・アンモニウム 425
 ツメノール丁幾 426

ネ

ネオカイン 303
 ネオサルヴァルサン 377
 ネオエーラミゾール 380
 ネオアルサミノール 380
 ネオタンヴァルサン 380
 ネオ銀サルヴァルサン 381

ネオピチロール 422
 ネオクナリン 481
 ネオクライエキス 481

ナ

ナップ氏車轉鉗子 80, 81
 ナルコボン 325
 ナフタラン 424
 ナファラン 425
 ナイセル氏亞鉛華硝着軟膏 441
 鉛潤濁 447
 ——ノ所置 22, 95, 495

ラ

烙白金燒灼法 96-102, 109, 111
 ラジウム療法 229
 亂視眼ノ矯正 264
 ラクトフェニン 330
 ラクチール・フェネチチン 330
 ラッサル氏朱軟膏 369
 ラッル氏パスタ 442
 ラルギン 395

ム

無蛋白ツベルクリン療法 243
 無刺戟性膏劑 420

ウ・ヴ

ウィンドレル氏灌水器 35
 爵血療法 113
 ビール氏—— 115
 大西氏—— 116
 頸部經絡—— 116
 ウレアブロミン 342
 ヴァリドール 343
 ヴァリール 344
 ヴェロナール 346

—ナトリウム 347
 ウロトロピン 408
 ウィルキンソン軟膏 433
 ウィルソン軟膏 441
 維也腐蝕バスタ 454
 ウリヒン 480
 ヴィタミノール 481
 ヴィタミンB製剤 478-481
 ヴィタミンA製剤 481-482

ノ

膿瘍ノ切開
 ノヴィカイン 144, 301, 302
 ノヴィレナール 317
 ノヴァスピリン 334
 ノヴァトファン 337
 ノイロフェブリン 337
 ノイロナール 342
 ノヴァズロール 362
 濃厚銀エレクトロイド 394
 ノヴァルガン 396
 ノゾフェン 400
 —ナトリウム 401
 ノヴィフォルム 405

ク

クアント式顆粒壓碎法 79
 クレボルン氏顆粒壓碎法 80
 クロホルム麻酔法 135
 クロホルム・エーテル麻酔法 141
 クロマイエル氏水銀石英燈 213
 屈折異常ノ矯正
 近視性— 249
 遠視性— 258
 亂視性— 264

クロールエチール 310
 クロールカルシウム 320
 クレデ氏點眼法 386
 —ノ代用 386, 390, 391
 枸橼酸銀 391
 クレゾール石鹼 414
 クロール酸カリウム 418
 クロール水 431
 枸橼酸銅 437
 クプロシトロール 437
 クシロール 438
 クプロール 439
 クロール亞鉛 443
 枸橼酸 458
 クロールナトリウム 471
 生理—液 471
 枸橼酸鐵キニーネ 475
 クリーム肝油 482
 クロールアンモニウム 495

ヤ

山田式蒸氣罨法器 37
 藥物按摩 76, 79, 85, 86, 89
 ヤング氏小兒藥量表 497

マ

丸尾氏トラホーム鑷子 85
 麻酔
 全身— 132
 傳達— 141
 浸置— 144
 局所— 148
 クロホルム— 135
 エーテル— 139
 エーテル・クロホルム混
 合— 141
 エチールクロリト— 141

エルシユニヒ氏毛様神經節
 傳達— 142
 ケーニヒ氏眼窩神經傳達—
 — 143
 ジーグリスト・メンデ氏眼
 窩浸潤— 145
 ザイデル氏眼窩浸潤—
 — 146
 リーベルマン氏眼窩浸潤—
 — 146
 眼筋ノ— 147, 151
 眼瞼ノ— 147
 涙嚢ノ— 148
 厥冷— 148
 コカイン屬ニヨル—
 — 149, 294-313
 マスイシン 310
 マグネシン 458

ケケ

結膜大洗滌 16
 結膜下注射 65
 —ノ續發症 69
 新陳代謝ヲ目的トスル—
 — 71
 局所作用ヲ目的トスル—
 — 72
 結膜ノ按摩 77
 結膜搔爬 90
 結膜燒灼 102, 171
 結膜瀉血 115
 頸部纏絡法 116
 ケーニヒ氏眼窩神經傳達麻酔
 — 143
 厥冷麻酔 148
 結核反應 238
 結核菌ワクチン 237, 243

血清療法 244
 デフテリー— 245
 破傷風— 246
 連鎖狀球菌— 246
 肺炎菌— 246
 結膜銀病 384
 桂皮酸ナトリウム 429
 血炭 433
 下劑 487-491

フ・フ・フ

プリンス氏トラホーム鑷子
 — 83
 フックス氏眼帶 164
 フィンゼン氏炭素孤光燈 212
 フィンゼン・ライン燈 216
 不同視眼ノ矯正法 252
 ブロム水素酸スコボラミン
 — 282
 —パントボン 284, 325
 フィゾストール 391
 ブロム水素酸アレコリン 394
 フェロピリン 318
 フェロスチブチン 319
 フェナセチン 329
 フェノコル 330
 フェナコヂン 331
 ブロム水素酸キニーネ 331
 ブロームカリウム 339
 ブロームナトリウム 340
 ブロームノ有機化合物
 — 340-342
 ブロムラール 340
 プロヴァリン 341
 プロマリソ 341
 プロミピン 341
 プロモコル 341

プロボナール 347
 プロタルゴール 388
 プロテイン銀 388
 フォルマリン 406
 フォルムアルデヒド液 406
 —ニヨル居室ノ消毒 407
 —ニヨル被服書籍類ノ消毒 407
 フォルマリン水 407
 腐蝕及収斂薬 434-459
 ブロー氏液 451
 ブレノ・レニセド膏 452
 フィプロリジン 473
 フェラチン 475
 フェラトーゼ 475
 ヨード・— 476
 アルゼン・— 476
 フェエローゼ 476
 ヨード・— 476
 アルゼン・— 476
 ブルトーゼ 476
 ヨード・— 476
 アルゼン・— 476
 ブルゲン 490
 フェノールフタレイン 490
 —・アガー 491
 フルオレスチン及フルオレスチン 493
 フルオレスチンナトリウム 493
 フーフェラント氏小兒薬量表 496
 ブラントン氏小兒薬量表 497

コ・ゴ
 膏劑 38
 —基質ノ撰擇 38

眼瞼— 39
 眼— 40
 河本式開瞼器 57, 58, 59, 104
 膏劑繃帶 153
 光線防護用眼鏡 194, 197
 光線療法 207
 コカイン 294
 コカイン屬ニヨル麻酔 149, 294-313
 コカレナリン 317
 コドレニン 317
 コアグロール 322
 コディン 324
 コロイド銀 392
 コルラルゴール 394
 コーラルゲン 394
 皓蓉 444
 ゴーラルド水 449
 糖製劑 478-481
 甲狀腺製劑 483-485
 甲狀腺末 485

エ・エ
 エッセリー氏蒸氣燒灼器 97
 エーベル氏尿管刀 118
 エッケル氏涙囊洗滌器 120
 エーテル麻酔 139
 エーテル・クロ、ホルム混合麻酔 141
 エチールクロリット麻酔 141
 エルシュニヒ氏毛様神経節傳達麻酔 142
 エーテル微酔法 140
 エッキス線療法 220
 エマナチオン 231
 遠視眼ノ矯正 258
 鹽酸エフェドリン 285

鹽酸オイフタルミン 286
 エゼリン 289
 鹽酸ピロカルピン 184, 291
 鹽酸コカイン 149, 294
 —ノ中毒及解毒法 297
 —ニ因ル眼障碍 297
 鹽酸ホロカイン 303
 鹽酸トロパコカイン 306
 鹽酸ストヴァイン 307
 鹽酸エチールモルヒネ 310
 鹽化アドレナリン 316
 —使用上ノ注意及眼障碍 145, 314
 —中毒 314
 エビレナン 317
 エーラミゾール 377
 エビネフリン 317
 鹽酸モルヒネ 323
 —ノ中毒及解毒法 323
 鹽酸フェノコル 330
 鹽酸キニーネ 331
 エーテル性續草丁幾 343
 エネゾール 362
 エレクトロ・コラルゴール 394
 エレクトラルゴール 395
 エモリゾール 395
 鹽酸オプトヒン 427
 鹽酸レミジン 427
 エタイノキシール 429
 エペロン氏法 447
 鉛糖 447
 鉛醋 448
 エクイヨゲン 467
 エリオザン 487

テ・テ
 點眼 I

點眼水 4
 —ノ消毒 7
 點眼瓶 9
 點眼瓶容器 9-11
 電氣温巻法 5, 50
 デスマー氏開瞼器 57, 59, 104
 電氣燒灼器 97, 171
 傳達麻酔 141
 電氣療法 168
 感傳— 167
 平流— 168
 電氣分解器 168
 高村式睫毛— 171
 電氣燒灼 171
 電氣光線浴 186
 デルマトール 405
 麥硫膏 433

了
 アンブレ入消毒點眼水 8
 巻法 43
 冷— 43, 45
 氷— 46, 43, 40
 微温— 50, 53
 温— 45, 50
 熱— 50, 53
 懷爐温— 51, 52, 56
 電氣温— 50, 51
 按摩法 75
 眼瞼— 76
 結膜— 77
 鞏膜及角膜— 86
 眼球— 87
 眼筋— 89
 指頭— 76
 綿球— 76, 77, 78
 硝子球— 76, 77, 78, 87, 89

規鐵丸	475	蒸氣電法	36
キナ・ポリタミン	477	小兒ノ洗眼	15
キノミール	477	小兒ノ開眼	63
ユ			
油劑	43, 291, 305	硝子球按摩	76, 78, 87, 89
メ			
メーリングル・ランドルト式		指頭按摩	76
開眼器	58	震頭按摩	88
綿球按摩	76, 77, 78	車轉鉗子	80, 82
メゾトリウム	230	燒灼法	96
免疫療法	232	燒灼	96
自働——	232	電氣——	97-102, 171
他働——	244	エッセリー氏蒸氣——	97-102
メタエチール	313	バクエレン烙白金——	96-102, 103, 111
滅菌ゼラチン液	319	眼瞼——	98, 109, 171
メチールスルフォナール	346	結膜——	99, 109, 171
メヂナール	347	角膜——	100, 171
メルクラール	360	眼窩——	102
メルクロール	364	蒸氣燒灼 エッセリー蒸氣燒灼	(97-102)ヲ見ヨ
メルガール	364	瀉血及鬻血療法	113
ニ			
水尾氏トラホーム 鑷子	82, 83	小尿管切開	117
ミドリン	285	小尿管楔状切除術	119
ミドリアチン	285	持續消息子法	128
ミグレニン	328	硝子體吸出法	128
明礬	450	硝子體吸引器械	128
——桿	450	硝子體洗滌	132
澄水用トシテノ——	451	浸潤麻醉	144
ミカモール	455	ジーグリスト・メンデ氏眼窩	
シ・ジ			
消毒點眼水	7	浸潤麻醉	145
消毒點眼瓶容器	7	濕潤繃帶	154
持續電法 電法(43)ヲ見ヨ		小繃帶	157
		滲透法	177
		刺戟療法	187
		紫外線豫防眼鏡	192
		職業用保護眼鏡	195, 196

疾病眼用保護眼鏡	196	シヤルラツハロート	460
紫外線療法	208	食鹽	471
全身的——	216	生理——水	471
局所的——	210	重炭酸ナトリウム	472
人工高山太陽	217	グリナール	474
自働免疫療法	232	滋養及補血劑	474-484
診斷用散瞳藥	284-286	人工カル、ス泉鹽	489
縮瞳藥	287	酒石酸アンモニウム	495
新オルトフォルム	309	硝酸ストリキニーネ	494
止血藥	313	小兒藥量表	496
止血綿	318	フーフランド氏——	496
臭剝	339	ガウピウス氏——	496
昇汞	349	ヤング氏——	497
——ノ中毒	349	カウリング氏——	497
——綿	350	ブラントン氏——	497
——ガーゼ	351	ヒ・ビ・ビ	
蒸氣製甘汞	352	水電法	48, 46
朱	369	ビースベルゲン氏震頭按摩	88
純ネオタンヴアルサン	380	ビール氏鬻血療法	115
硝酸銀	382	ピロカルピン	184, 291
——使用上ノ注意	383	ヒポフォルム	310
——ノ眼障碍	383	ピラミドン	310
——桿	390	ヒプロチン	340
次没食子酸蒼鉛	405	ヒギトール	360
次没食子酸ヨード蒼鉛	405	ヒドラルゴール	364
酒精	431	ビオフォルム	402
純——	431	ビクリン酸	417
收斂及腐蝕藥	434-459	ビチロール	421
神効石	437	ネオ——	422
次醋酸鉛液	448	ビオクタニン	463
稀——	449	——黃	463
純醋酸	457	——青	464
次硝酸蒼鉛	458	砒素中毒及其解毒法	469
ジエキリトール	458	砒石解毒劑	469
——血清	458		

ビツイタリー液	485
ビツグランドール	486
ヒポフイーゼンエキス	486
ヒポフィジン	486
苧麻子油	487

モ

モロ氏ツベルクリン軟膏反應	238
モルヒネ	322
——ノ中毒及解毒法	323
木タール	432

セ・セ

洗眼	12
洗滌藥	18
前房穿刺	103
全身瀉血	113
全身麻醉	132
雪狀炭酸凍冷療法	177
全身浴	186
潜伏性斜視ノ矯正	256
ゼラチン	319
セダチヴァール	341
青酸汞	358
赤色ヨード汞	369
赤色硫化汞	369
石炭酸	411
流動——	412
防疫用——	412
石油ベンチン	432
石灰水	456
生理クロールナトリウム液 (生理食鹽水)	471
石灰沈着症	22, 495, 496

ストローシャイン式點眼瓶	6, 7
須田式加温洗眼装置	19
水銀石英燈	213
スコボラミン	282
——パントボン	284, 325
スピカイン	303
ストヴァイン	307
ズブラコイン	317
ズブラレニン	317
スルフォナール	345
ズブラミン	351
水銀劑ト黴毒	357, 359, 369
水銀軟膏	358
水銀硬膏	360
スルフォイヒチオール酸アン モニウム	422
スルフォ石炭酸亞鉛	444
水酸化カリウム	453
スベルゾン	480
ストリキニーネ	494
——ノ中毒及其所置	494

大正十五年七月廿五日印刷
大正十五年七月廿八日發行

正價金四圓

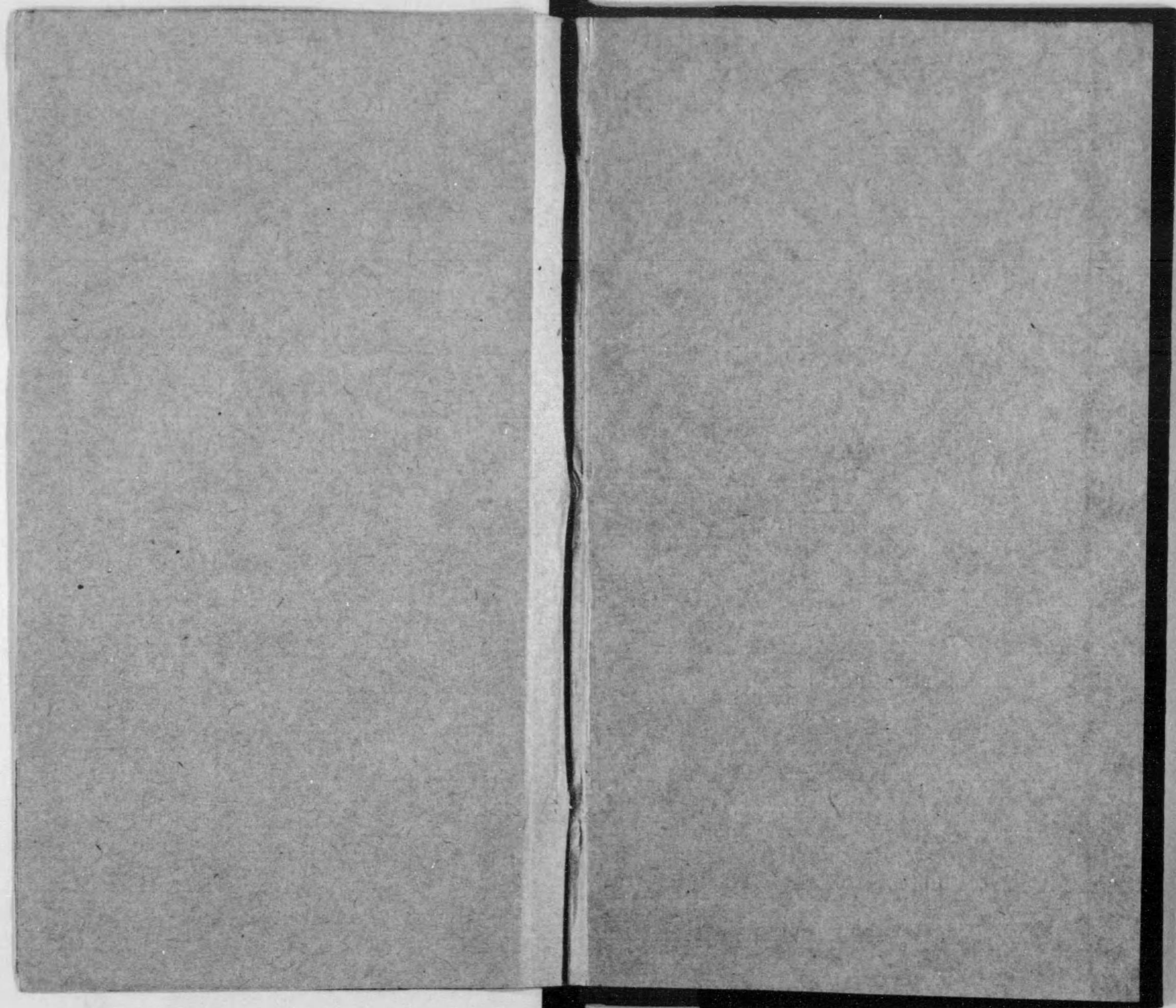
著者 石津 寛

發行者 金原虎作
東京市本郷區湯島切通坂町二一

印刷者 加藤晴吉
東京市本郷區湯島切通坂町五一

印刷所 合資 正文舎第一工場
會社 上 同 所

東京市本郷區湯島切通坂町二一
發行所 株式 金原商店
會社 振替東京三五三五番
電話小石川三八四〇番



55
126

終